

MAKE THE
WORLD SEE

Milestone Systems

XProtect® Web Client 2024 R2

ユーザーマニュアル



内容

著作権、商標、および免責条項	4
概要	5
XProtect Web Client	5
新機能	5
要件と検討事項	11
受信音声の再生要件	11
プッシュ・トゥ・トークの使用要件	11
ダイレクトストリーミングの要件	11
設定	13
設定	13
ダイレクトストリーミング（説明付き）	14
アダプティブストリーミング（説明付き）	15
外部IDPとXProtect Web Client（説明済み）	15
カメラの録画の管理（説明付き）	16
録画および調査の保存期間と保存（説明付き）	17
受信音声の再生（説明付き）	17
プッシュ・トゥ・トーク（説明付き）	18
デジタルズームと光学ズーム（説明付き）	19
操作	20
ログイン	20
初回ログイン	20
パスワードの変更	23
ホームページの概要	23
カメラの検索	25
カメラに移動する	26
ライブビデオを見る（説明付き）	27
ブックマーク（使用）	32
ブックマーク（説明付き）	32

ブックマークの詳細を表示するか、ブックマークのビデオクリップを再生する	32
ブックマークを追加または編集する	34
ブックマークを削除	39
ブックマークをフィルターする	40
ライブモードで受信音声を再生	44
1つのカメラのライブビデオでプッシュ・トゥ・トークを使用	45
ライブビデオ内の複数のカメラに音声を配信する	45
再生モードでのタイムラインの使用（説明付き）	46
1台のカメラから録画を再生する	49
ビデオ録画における音声の再生（説明付き）	51
複数のカメラからの録画映像（説明付き）	52
再生するビデオの時間を指定する	54
ビデオ再生から、必要のないカメラを削除できます。	58
調査エリア内のカメラ（説明付き）	58
タイムラインを使用した調査（説明付き）	59
全画面表示での表示の最適化	61
1台またはそれ以上のカメラで調査を作成する	62
カメラを既存の調査に追加	63
既存の調査からカメラを削除する	66
調査を更新または削除する	66
ビデオのエクスポートとダウンロードの準備	68
XProtect Web Clientページの共有（説明付き）	71
アラームを表示	72
アクションの有効化	73
PTZコントロール	74
デジタルズームの使用	75
光学ズームの使用（カメラが光学ズームをサポートしている場合）	75
アップグレード	76
XProtect Web Clientの更新	76

著作権、商標、および免責条項

Copyright © 2024 Milestone Systems A/S

商標

XProtect は Milestone Systems A/S の登録商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。Android は Google Inc. の商標です。

本文書に記載されているその他の商標はすべて、該当する各所有者の商標です。

免責条項

本マニュアルは一般的な情報を提供するためのものであり、その作成には細心の注意が払われています。

この情報を使用することにより発生するリスクはすべて、使用者が負うものとします。また、ここに記載されている内容はいずれも、いかなる事柄も保証するものではありません。

Milestone Systems A/S は、事前の通知なしに変更を加える権利を有するものとします。

本書の例で使用されている人物および組織の名前はすべて架空のものです。実在する組織や人物に対する類似性は、それが現存しているかどうかにかかわらず、まったく偶然であり、意図的なものではありません。

この製品では、特定の規約が適用される可能性があるサードパーティー製ソフトウェアを使用することがあります。その場合、詳細はMilestoneシステムインストールフォルダーにあるファイル`3rd_party_software_terms_and_conditions.txt`をご参照ください。

概要

XProtect Web Client

XProtect Web Clientを使用して以下を実行します。

- ウェブブラウザ内でライブビデオとビデオ録画を表示する。



XProtect Web Clientでは、アプリで表示される時刻情報はコンピュータで設定しているタイムゾーンを引き継ぎます。これにはライブおよび再生モード、アラーム、ブックマークなどで表示される時刻が含まれます。

- ライブビデオやビデオ録画にブックマークを追加する。
- ライブビデオとビデオ録画において受信音声と送信音声を再生する。
 - 1台のカメラからライブビデオを見ながらプッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能を使用する。
 - ライブモードで複数のカメラに音声をブロードキャストする。
 - 再生モードで受信音声と送信音声を再生する。
- 調査を作成する。
- 録音/録画された受信音声と送信音声付き/なしのビデオエクスポートをダウンロードする。
- ビデオ監視システムでイベントをトリガーするアクションを有効化する。
- 様々なイベントによりトリガーされるアラームのビデオを確認する。

新機能

XProtect Web Client 2024 R2

XProtect Web Client 2024 R1

全画面表示時のタイムラインの自動非表示モード

- 全画面表示モードで、タイムラインを自動的に非表示にして表示エリアを最大限にすることができるようになりました。操作が5秒間なかった場合に、タイムラインが自動的に非表示になります。[61 ページの全画面表示での表示の最適化](#)と[13 ページの設定](#)をご参照ください。

XProtect Web Client 2023 R3 の新機能

左ペインの検索機能

- **カメラとビューの検索** フィールドで、XProtect Management Clientで定義されたカメラの説明からキーワードを入力して、カメラを検索できるようになりました。したがって、ライブまたは再生モードでビューをモニターする際に、簡単にデバイスを見つけることができます。
- 検索フィールドに **ptz**、**audio**、**ptt** と入力してカメラを検索するオプションは削除されました。
詳細については、[25 ページのカメラの検索](#) をご参照ください。

調査のタイムライン

- 調査のタイムラインは、再生モードのメインタイムラインと、編集モードのブックマークビデオクリップのタイムラインに沿った新しいデザインと機能を備えています。
- ブックマークは、調査のタイムライン上でも利用できます。
- 時間選択モードでは、新しいナビゲーションボタンがタイムラインに追加され、時間選択ブラケットを使用する際のユーザーエクスペリエンスが向上しました。
- ブラケットをドラッグしてタイムラインの端まで来たら、そのブラケットをドラッグし続けると、タイムライン追跡が同時に作動を開始します。この方法で、ビデオの開始時間や終了時間を、以前はタイムラインに表示されていなかった時間帯に移動させることができます。
- タイムライン追跡をクリックしたまま左右にドラッグすることもできます。
- タイムライン コントロールを使用すると、調査のビデオ再生は、時間選択ブラケットの間でどちらかの方向にループします。この機能により、選択したビデオスニペットに焦点を合わせ、必要に応じて何度でも途中から再生したり、調査することができます。
- ブラケットの上にカーソルを置くと、ビデオの開始/終了時間と期間がヒントに表示されます。ブラケットをドラッグすると、ヒントの時間値がドラッグと同時に更新されます。
詳細については、[59 ページのタイムラインを使用した調査（説明付き）](#) をご参照ください。

調査機能について

- 調査に追加されたカメラの再生のオンとオフを切り替えるオプションが削除されました。

再生モードでのタイムライン

- タイムライン上で異なるタイプの録画を視覚化するために使用されるカラーコードが変更され、モーションのある録画のために色が追加されました。
詳細については、[46 ページの再生モードでのタイムラインの使用（説明付き）](#) をご参照ください。

ブックマーク：

- 編集モードでは、新しいナビゲーションボタンがタイムラインに追加され、時間選択ブラケットを使用する際のユーザーエクスペリエンスが向上しました。
- ブックマークが、調査をモニターしながら、タイムラインから直接表示、編集、削除できるようになりました。
詳細については、[32 ページのブックマーク（使用）](#) をご参照ください。

XProtect Web Clientガイドツアー

- ガイドツアーは、新機能の概要を説明し、その使い方を伝える、コンテキストに沿ったユーザーインターフェイスガイドです。リリースの新機能の数によっては、各タブに1つ以上のチュートリアルがある場合もあります。
- ガイドツアーは、初回ログイン時、リリース毎、アップグレード後に開始されます。上部メニューバーの**詳細メニュー**から再開できます。詳細については、[23 ページのホームページの概要](#)をご参照ください。

XProtect Web Client 2023 R2 の新機能

ブックマーク：

- ブックマークは、**ビュー**タブで録画をモニターしながら、タイムラインから直接表示、編集、削除できるようになりました。詳細については、[46 ページの再生モードでのタイムラインの使用（説明付き）](#)と[32 ページのブックマーク（使用）](#)をご参照ください。
- このため、ブックマークの詳細の追加/編集の操作性が向上しています。ブックマークしたビデオクリップは、再生モードでビデオ映像を操作する場合と同様にやり取りできます。
- タイムラインをブックマークコントロールを使って、ブックマークしたビデオクリップを逆再生または順再生したり、前または次のフレームに移動したりできます。タイムライン追跡を左右にドラッグして時間的に移動します。
- タイムラインをブックマークにカーソルを合わせ、**Ctrl**キーを押しながらマウスホイールを同時にスクロールすると、タイムスパンにズームインします。
- タイムラインの時間選択ブラケットを使って、ブックマークの開始/終了時間を調整することができます。
- また、タイムラインで時刻インジケータをドラッグしてブックマークイベント時間を変更することもできます。

詳細については、[32 ページのブックマーク（使用）](#)をご参照ください。

タイムラインのタイムピッカー

- 新しくなったタイムピッカーは、ライブモードまたは再生モードのどちらからもアクセスできるようになりました。詳細については、[54 ページの再生するビデオの時間を指定する](#)をご参照ください。

XProtect Web Client 2023 R1 の新機能

再生モードには新しいタイムラインがあります。

- 新しいタイムラインは、録画を素早く検索して見つけることのできる、最新の使いやすい設計になっています。この機能は、1台のカメラビューと複数台のカメラビューの両方で使用できます。
- 新しいタイムライン コントロールを使うと、ライブと再生モードの間を素早く移行できます。ライブモードでは、タイムラインは非表示になります。再生モードでは、以下が可能です。
 - 1台または複数のカメラから録画を再生または送信します。
 - 前または次のシーケンスに移動します。
 - 再生スライダーを使用して、録音/録画内の特定の場所に移動します。
 - 速度スライダーを使用して録画の再生速度を指定します。
 - 時間スライダーを使用して、録音/録画を再生するタイムスパンを指定します。
- タイムラインにブックマークを表示できるようになりました。再生モードでは、タイムラインから直接ブックマークを探し出して、そのアイコンをクリックしてブックマークの詳細を表示したり、ブックマークのビデオクリップを再生したりできます。

詳細については、[46 ページの再生モードでのタイムラインの使用（説明付き）](#)をご参照ください。

上のメニューバー

- **ライブ**タブは**ビュー**タブになりました。新しい名前は左側のペインの内容と一致するもので、そこにはビューとカメラのリストが含まれます。ライブビデオを表示するには、カメラビューをクリックします。デフォルトでは、ビデオはライブモードで再生を開始します。

左側のペイン

- ペインの**ビュー**セクションの**すべてのカメラ**フォルダー が削除されました。

XProtect Web Client 2022 R3 の新機能

外部IDPを使ってログインします。

- 外部IDPを使用してXProtectWebClientにログインすることができます。このログイン方法では、基本ユーザーまたはWindowsユーザーに必要なログイン認証情報をバイパスして、アプリへのアクセス許可を得ることができます。詳細については、[15 ページの外部IDPとXProtectWebClient（説明済み）](#)をご参照ください。

ログイン画面

- **ログイン**画面のユーザーインターフェースが新しくシンプルになりました。詳細については、[20 ページのログイン](#)をご参照ください。

新しい左側のペイン

- 左側のペインは、折りたたみとサイズ変更ができるようになりました。
- 新しい検索機能では、ビューのリストから無関連の項目をフィルターで除外し、一致する項目をハイライト表示します。
- ペインの**ビュー**セクションでは、内部にフォルダーとサブフォルダーのビューがあるリストを含む、**すべてのカメラ、プライベート、パブリック**フォルダーを表示できます。そこからさまざまなビューに移動したり、単一カメラまたは複数カメラのビデオを表示したりできます。

- ペインの**カメラ**セクションには、内部にカメラグループを含むフォルダーとサブフォルダーからなるリストにカメラグループと関連デバイスが表示されます。そこから、1台のカメラのビデオをライブや再生モードで視聴することもできます。
 - リニューアルした**グリッド**ビューを使用すると、カメラの単一ビュー表示でコンピューターの画面全体を使用することができます。
 - **ライブ**タブを表示して特定のカメラグループまたはビューに移動し、その後別の画面に移動するか、ログアウトした場合、再度ログインして**ライブ**タブに戻ると、同じカメラグループまたはビューが表示されます。
- 詳細は、[23 ページのホームページの概要](#)、[26 ページのカメラに移動する](#)、[27 ページのライブビデオを見る（説明付き）](#)をご参照ください。

アラームの通知

- アプリでどの画面を見ているかに関係なく、アラームに関する通知を受け取ることができます。通知をクリックすると、アラームの詳細に移動します。
- この機能には、Milestone Care Plusサブスクリプションパッケージが必要です。

XProtect Web Client 2022 R2 の新機能

上のメニューバー

- **ホーム**ページのトップメニューの左側に、グループ化されたすべての機能タブがあります。ユーザーメニューと**その他**メニューは、上のメニューバーの右側にあります（[23 ページのホームページの概要](#)を参照）。

音声

- **ライブ**タブで特定のカメラのライブビデオを表示したり、あるいは音声付きの録画ビデオを再生したりした後、別のタブに移動して、再び**ライブ**タブに戻ると、音声の再生が自動的に開始したり、そのカメラのビデオの再生が続行されます。

XProtect Web Client 2022 R1 の新機能

ブックマーク：

- 特定のブックマークを見つけるため、検索し、フィルターを使用できます。ブックマークにフィルターを適用する方法は3通りあります。
 - ブックマークの見出しまたは説明に含まれるキーワードを入力したり、完全なブックマークIDを入力することができます。
 - 指定のカメラを選択できます。
 - 定義済みタイムインターバルを選択できます。フィルターとして適用するタイムインターバルをカスタマイズすることもできます。
- 音声がある場合、ブックマークに追加したビデオシーケンスで音声を聴くことができます。

ダイレクトストリーミング

- この機能はXProtect Professional+とXProtect Express+でも利用できます。

アダプティブストリーミング

- この機能はXProtect Professional+とXProtect Express+でも利用できます。

要件と検討事項

受信音声の再生要件

カメラから受信音声を再生するには、以下が必要です。

- マイクがカメラに接続されている。



監視システムのカメラにマイクが接続されている場合、追加の設定は必要なく、音声を再生することができます。カメラツールバーの音声アイコンは、音声機能が有効かどうかを示します。

- 十分なユーザー権限。



受信音声機能へのアクセスは、ユーザー権限によっては制限されていることがあります。ご不明点がある場合は、システム管理者にお問い合わせください。

プッシュ・トゥ・トークの使用要件

ビデオ管理ソフトウェアのプッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能を使用するには、以下が必要です。

- スピーカー付きカメラ。
- コンピュータに接続されているマイク。



インターネットブラウザがPCのマイクにアクセスするのを許可する必要があります。

- 十分なユーザー権限。



ユーザー権限によっては、プッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能へのアクセスが制限されることがあります。ご不明点がある場合は、システム管理者にお問い合わせください。

- 安全なインターネット接続（HTTPS）。

ダイレクトストリーミングの要件

XProtect Web Clientは、ライブモードでのダイレクトストリーミングに対応しています。

ダイレクトストリーミングを使用すれば、最大で100本以上のライブビデオをフルHD 30 FPSで同時にモニターできます。この機能を使用するには、以下が必要です。

- H.264コーデックに対応しているカメラを使用します。
- ダイレクトストリーミング機能をXProtect Web Clientで有効にします（[13 ページの設定](#)を参照）。

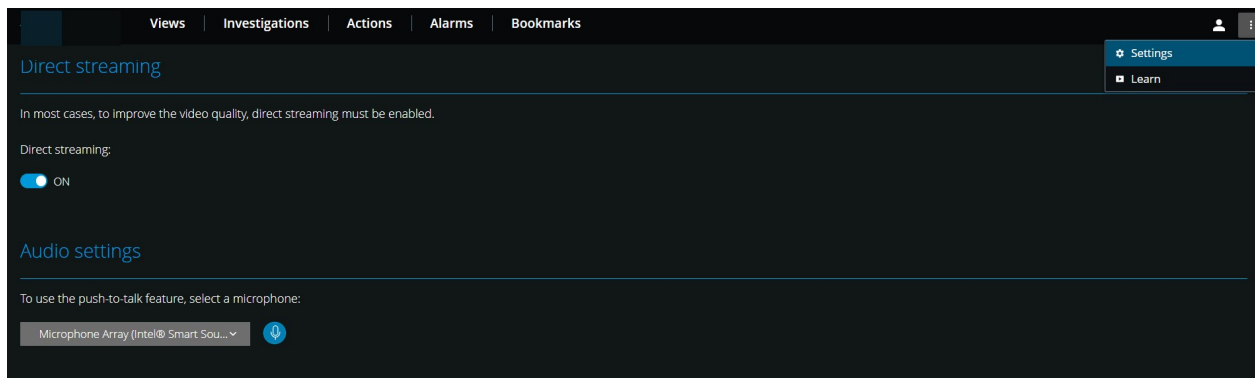
詳細は、XProtect Mobileサーバー[システムコンポーネント](#)の管理者マニュアルを参照してください。

設定

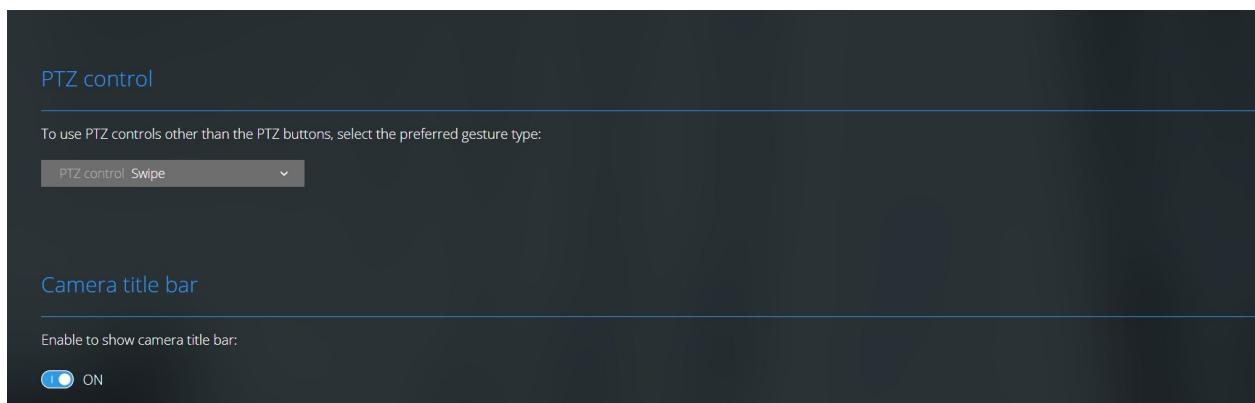
設定

	「XProtect Web Clientをできるだけスムーズに実行するにはどうしたらよいですか？また、PTZカメラを動かす他の方法を教えてください。」
---	--

上部のメニューバーで、**詳細**メニューをクリックし、**設定**を選択します。



- **ダイレクトストリーミング** - ダイレクトストリーミング機能を有効にします。この機能はデフォルトで有効になっています（[14 ページのダイレクトストリーミング（説明付き）](#)を参照）。
- **音声設定** - XProtect Web Clientがプッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能で使用するマイクを選択します。プッシュ・トゥ・トークのアイコンが点滅している場合は、関連づけられている音声デバイスの使用準備が整ったことを意味します。



- **PTZコントロール** - PTZボタンが有効ではない場合は、PTZコントロールのジェスチャーを選択します（[74ページのPTZコントロール](#)を参照）。
- **カメラタイトルバー** - この設定を有効にすると、カメラのタイトルバーが表示されます。
- **ビデオ診断オーバーレイ** - この設定を有効にすると、選択したビューでビデオストリームのFPS（1秒あたりのフレーム数）、コーデック、解像度、ストリーミングのタイプが表示されます。この機能では、情報がビデオのオーバーレイとして表示されるため、ビデオストリームに関連したXProtect Web Clientの問題や、ローカルパフォーマンス問題のトラブルシューティングの役に立つことがあります。
- **使用状況データ** - この設定を有効にすると、使用状況のデータが提供されます。収集された使用状況データの完全なリストは、「[プライバシーポリシー](#)」のテキストリンクにアクセスして確認できます。

システムを欧州 GDPR に準拠するインストールにしたい場合は、データ収集を有効にしないでください。データ保護と使用状況データの収集の詳細については、[GDPR プライバシーガイド](#)を参照してください。

- **全画面表示時のタイムラインの自動非表示** - 全画面表示モード時に操作が5秒間なかった場合にタイムラインを自動的に非表示にすることで、表示エリアを最大限にします。コンピュータを操作すると、タイムラインが再度表示されます。

ダイレクトストリーミング（説明付き）

XProtect Mobileは、ライブモードでのダイレクトストリーミングに対応しています。

ダイレクトストリーミングは、H.264コーデック形式のビデオをXProtectシステムからクライアントに直接転送するためのビデオストリーミング技術です。これは、多くの新型IPカメラでサポートされています。XProtect® MobileクライアントはH.265コーデックの使用もサポートします。ダイレクトストリーミングにはトランスコードは不要なため、XProtectにかかる負荷がいくらか軽減されます。

ダイレクトストリーミング技術は、（XProtectシステムにより、ビデオがカメラで使用されるコーデックからJPEGファイルへとデコードされる）XProtectのトランスコード設定とは対照的です。この機能を有効にすると、カメラとビデオストリーミングの設定を変更することなくCPU使用率が軽減します。さらにダイレクトストリーミングは、同一のハードウェアのパフォーマンスも向上させます（トランスコードと比較して最大で5倍の量のビデオストリーミングが可能）。

XProtect Web Clientでは、ダイレクトストリーミングは単一カメラビューとグリッドビューの両方で使用できます。

ビデオストリームは、以下の場合にダイレクトストリーミングからトランスコーディングにフォールバックします。

- ダイレクトストリーミング機能がManagement Clientで無効になった、または要件が満たされていない（[11ページのダイレクトストリーミングの要件](#)を参照）。
- ストリーミングカメラのコーデックがH.264でない。
- ビデオが10秒を超えて再生できない。
- ストリーミングカメラのフレームレートが1秒あたり1フレーム（1 FPS）に設定されている。
- サーバーとの接続、またはカメラとの接続が失われた。
- ライブビデオ中にプライバシーマスク機能を使用している。

アダプティブストリーミング（説明付き）

XProtect Mobileは、ライブモードでのアダプティブストリーミングに対応しています。

アダプティブストリーミングは、同じカメラのビューで複数のライブビデオストリームを閲覧する場合に便利です。この機能はXProtect Mobileサーバーのパフォーマンスを最適化し、XProtect MobileクライアントとXProtect Web Clientを実行しているデバイスのデコード性能とパフォーマンスを改善します。

アダプティブストリーミングを活用するには、カメラに解像度の異なる複数のストリームを設定する必要があります。この場合、この機能では以下のことができます。

- ビデオ画質の最適化 - 利用可能な最も低い解像度（要求したものと同等またはそれ以上の解像度）を持つストリームが選択されます。
- サーバーパフォーマンスの最適化 - 要求された解像度を低下させた後、使用可能な最も低い解像度（低下したものと同等またはそれ以上の解像度）を持つストリームが選択されます。
- 低帯域幅用に解像度を最適化 - 利用可能な最も低い解像度を持つストリームが選択されます（3Gまたは不安定なネットワークを使用している場合に推奨）。



ズーム中に要求されるライブビデオストリームは、常に利用可能なもっとも高い解像度を持つものとなります。



帯域幅の使用はたいいてい、要求したストリームの解像度が下げられるのに併せて減少します。帯域幅の使用は、定義したストリーム構成の他の設定にも依存します。

詳細は、XProtect Mobileサーバー [システムコンポーネント](#) の管理者マニュアルを参照してください。

外部IDPとXProtect Web Client（説明済み）

XProtect Web Clientは、外部IDPを使ったログインに対応しています。

IDPはIdentity Providerの頭字語です。外部IDPは、ユーザーID情報を保存および管理し、他のシステムにユーザー認証サービスを提供できる外部アプリケーションおよびサービスです。外部IDPはXProtectVMSに関連付けることができます。

XProtect Web Client2022 R3以降は、外部IDPを使ってXProtectにログインできます。



XProtectWebClientに外部IDPでログインするためには、HTTPS接続を使用する必要があります。

詳細は、XProtectVMSに関する管理者マニュアルの、外部IDPを使用したログインに関するトピックをご参照ください。

カメラの録画の管理（説明付き）

ビデオ録画は、**ビュー**タブと**調査**タブで管理できます。

- **ビュー**タブでカメラビューに移動し、クリックしてライブモードでビデオの再生を開始します。タイムラインコントロールから**再生**を選択すると、以下を実行できます。
 - 1台以上のカメラから録画を再生します。
 - ビデオ録画の受信音声と送信音声を再生します（[51 ページのビデオ録画における音声の再生（説明付き）](#)を参照）。
 - 前または次の録画の先頭に移動します。
 - 速度スライダーを使用して録画の再生速度を指定します。
 - 時間スライダーを使用して、再生したい録画のタイムスパンを指定します。
 - タイムラインでブックマークアイコンをクリックして、録画にブックマークを追加するか、追加したブックマークの詳細を表示します。
- **調査**タブでは、以下を実行できます。
 - 1台または複数のカメラからの録画を再生または調査します。



調査モード内で、調査を作成せずに録画を再生したい場合、全カメラの録画映像を、現在のビューでいつでも同時再生できます。

- ビデオ録画または調査に録音された受信音声と送信音声を再生します。
- 再生または調査したい録画の時間を指定します。特定のビューに含まれるすべてのカメラまたは調査に追加されたカメラに、指定された時間が適用されます。
- 録画の時間帯を指定し、詳細な開始および終了日時を設定できます。
- 次のように、保存された調査を管理できます。状態を更新、カメラを追加または削除して設定を編集、調査を削除、またはビデオ録画をエクスポートおよびダウンロード。



録画をシステムデータベース内に適切な期間、確実に保存するため、ニーズに合わせて保存期間を設定してください（[17 ページの録画および調査の保存期間と保存（説明付き）](#)を参照）。

録画および調査の保存期間と保存（説明付き）



ビデオ録画の保存期間はXProtect Management Clientで使用する設定で、システムデータベースに録画を保存する期間を決められます。デフォルトでは、保存期間は7日間です。保存期間を過ぎると、録画映像は削除されます。



保存期間またはデータベースの最大容量を変更したい場合は、システム管理者に問い合わせてください。機能の詳細な説明と、設定およびメンテナンスの手順については、[XProtectVMS管理者マニュアル](#)を参照してください。

ビュータブと**調査**タブで、保存期間の設定で定義した日数を経過していないビデオ録画を再生できます。

録画が削除されないようにするには、**調査**タブで調査を作成する必要があります。調査を作成すると、録画映像がシステムデータベースから削除されていても、その映像を再生、エクスポートおよびダウンロードできます。



XProtect Management Clientでは、システム管理者はモバイルサーバーに調査を保存する期間を定義できる調査保存期間の設定を有効にすることも可能です。デフォルトでは、保存期間は7日間です。この設定を有効にすると、保存期間の前に作成されていた調査はすべて、削除されます。

調査が削除されるのを防ぐため、ビデオのエクスポートを作成し、コンピュータに調査をダウンロードできます。

受信音声の再生（説明付き）

XProtect Web Clientは、以下の場合に受信音声をサポートします。

- ライブビデオの視聴（[27 ページのライブビデオを見る（説明付き）](#)を参照）。
- ビデオ録画の再生（[16 ページのカメラの録画の管理（説明付き）](#)を参照）。

受信音声は以下でも使用できます。

- 調査（[58 ページの調査エリア内のカメラ（説明付き）](#)を参照）。
- ビデオのエクスポート（[68 ページのビデオのエクスポートとダウンロードの準備](#)を参照）。
- アラーム（[72 ページのアラームを表示](#)を参照）。
- アクション（[73 ページのアクションの有効化](#)を参照）。
- ブックマーク（[32 ページのブックマーク（使用）](#)を参照）。

プッシュ・トゥ・トーク（説明付き）

プッシュ・トゥ・トークでは、VMSシステムによりPCのマイクからカメラの近くにいる人と交信したり、複数の音声機能付きのビデオカメラに音声ブロードキャストしたりすることができます。また、記録した会話を再生モードで再生したり、ビデオエクスポートの準備中に双方向音声記録を音声パッケージに含めたりもできます。

XProtect Web Clientはプッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能に対応しています。

- 1つまたは複数のカメラからライブビデオを見ている間（[27ページのライブビデオを見る（説明付き）](#)を参照）。
- ビデオ録画に録音された送信音声を再生する場合（[51ページのビデオ録画における音声の再生（説明付き）](#)を参照）。
- 調査中およびビデオのエクスポート中。
- アクション（[73ページのアクションの有効化](#)を参照）。
- アラーム（[72ページのアラームを表示](#)を参照）。



インターネットブラウザに、PCマイクへのアクセスを許可する必要があります（[11ページのプッシュ・トゥ・トークの使用要件](#)を参照）。

プッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能を使用できる場合は、カメラツールバーに**プッシュ・トゥ・トーク**ボタンが表示されます。アイコンは以下の状況を示しています。

アイコン	説明
 （使用可能）	ライブモードでプッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能が使用でき、使用条件をすべて満たしていることを示します。プッシュ・トゥ・トークを開始するには、長押しします。音声の送信を終了するには、ボタンから手を放します。
 （アクティブ）	ライブモードで現在プッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能が使用中であることを示します。ビデオカメラのPCマイクとビデオカメラのスピーカーまたはビデオカメラがアクティブな状態です。点滅している青い丸は、音量を示しています。
 （無効）	ライブモードでは以下が示されます。 • プッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能は利用できますが、この機能を利用するために必要な要件を満たしていません（11ページのプッシュ・トゥ・トークの使用要件を参照）。

アイコン	説明
	- カメラスピーカーが無効です。 - ハードウェアデバイスが無効です。
	再生モード時に、ビデオ録画の再生中に双方向音声を再生できること、ならびに再生したい音源を選択できることが示されます（ 51 ページのビデオ録画における音声の再生（説明付き） を参照）。

ライブモード時のプッシュ・トゥ・トークの割り込みルール

ユーザー権限のレベルに基づき（システム管理者またはオペレータ）、ライブモードでプッシュ・トゥ・トークセッションに割り込む場合、以下の2つのルールがあります。

- ユーザー権限が同じレベルのユーザー同士で割り込むことはできません。
- ユーザー権限が低いレベルのユーザー（オペレータ）がユーザー権限が高いレベルのユーザー（システム管理者）に割り込むことはできません。

デジタルズームと光学ズーム（説明付き）

デジタルズームを使用した場合

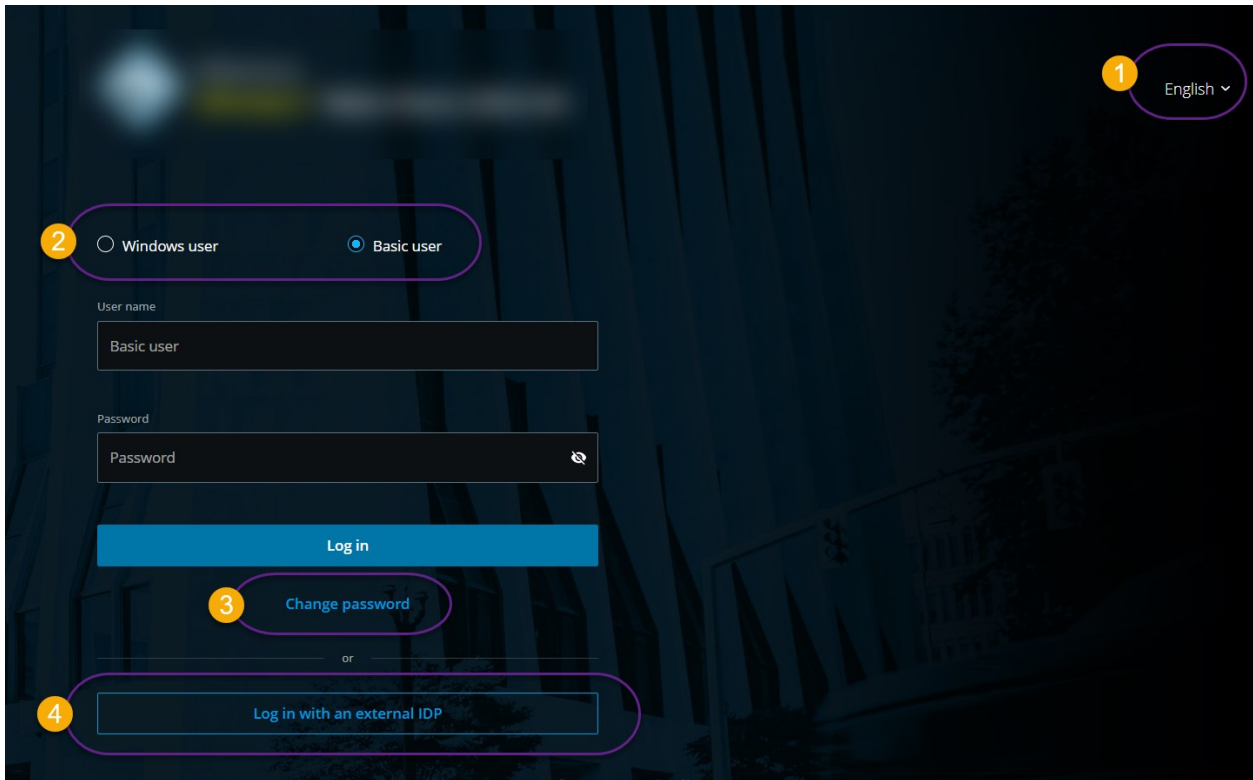
- 画像品質は下がります。ご覧になった画像はピクセル化され、明瞭度が下がります。
- 録画品質に変化はありません。
- 録画のズームレベルに変化はありません。

光学ズームを使用した場合（カメラが光学ズームに対応している場合のみ）

- ご覧になる画像品質に変化はありません。
- 録画品質に変化はありません。
- 録画中にカメラの光学ズームを使用する場合は、ズームレベルが録画にも適用されます。

操作

ログイン



初回ログイン



Milestoneは、ユーザー資格情報を管理する際は安全な接続を使用するようお勧めしています。

1. Webブラウザのアドレスバーに、システム管理者から提供されたインターネットアドレスを入力してください。例：<http://1.2.3.4:8081>または<https://1.2.3.4:8082>。ログインページが表示されます。
2. オプション。言語を変更するには、右上の①デフォルトの言語をクリックします。

3. 以下の認証方法のいずれかを選択します²。

- **基本ユーザー** - このオプションを選択すると、基本ユーザーとしてログインします。基本ユーザーは、システム管理者によってXProtect Management Clientで定義されます。基本ユーザーとしてログインするには、最初に一時的なパスワードを変更する必要があります。
 1. **ユーザー名とパスワード**フィールドで、システム管理者から提供されたログイン認証情報を入力します。
 2. **ログイン**をクリックします。**パスワードを変更**ダイアログボックスが表示されます。
 3. **続行**をクリックして、新しいブラウザウィンドウを開きます。
 4. **新しいパスワードを設定**ウィザードの指示に従い、新しいパスワードを保存します。
 5. 変更を保存した後、現在のブラウザウィンドウを閉じ、新しいパスワードを使用してXProtect Web Clientにログインします。



次回ログイン時にシステム管理者にパスワード変更を求められた場合、上記の手順に従ってログインしてください。

- **Windowsユーザー** - このオプションを選択すると、Windowsユーザー認証情報を使ってログインします

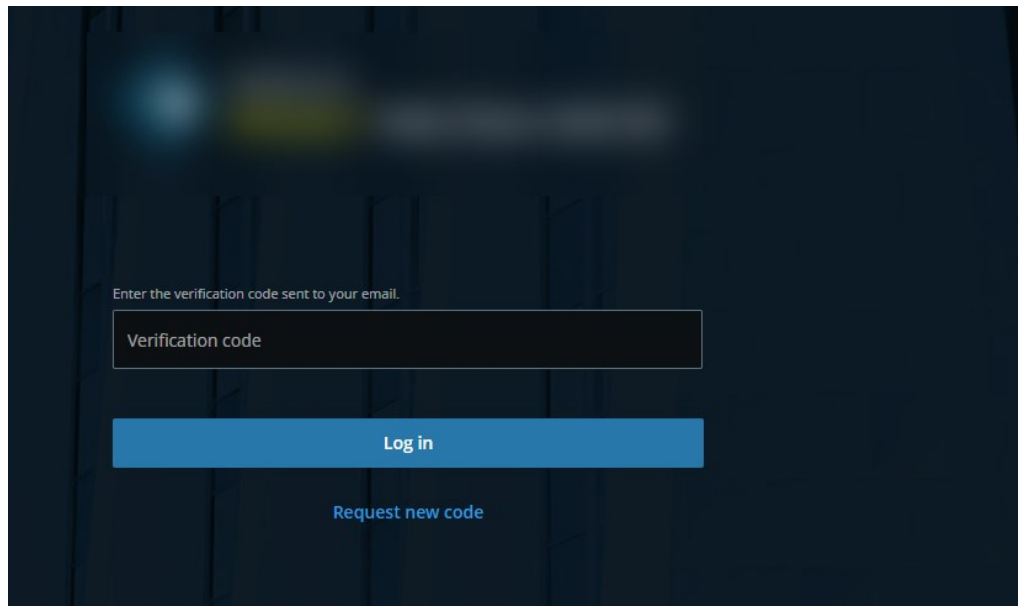
1. **Domain¥User name**および**パスワード**フィールドで、Windowsユーザー認証情報を入力してください。



Windowsユーザー認証情報は、コンピュータまたはドメインに固有です。

2. **ログイン**をクリックします。

- [外部IDPの名前]で**ログインする** - このオプションを選択すると、外部IDPでログインします。詳細については、[15 ページの外部IDPとXProtect Web Client（説明済み）](#)をご参照ください。
- オプション。システム管理者がユーザーアカウントに2要素認証を設定している場合は、検証コードを入力するよう求められます。このコードは、システムから電子メールアドレスに送信されます。この認証方法は、ログインのたびに使用する必要があります。詳しくは、システム管理者にメールアドレスについて確認してください。
 1. メールプログラムを開き、番号をメモします。
 2. XProtect Web Clientログインページでコードを入力し、**ログイン**をタップします。



指定された時間内に（デフォルトの時間は5分）認証コードを使用しない場合、その認証コードは期限切れになります。その場合、コードを入力する画面で新しいコードを要求できます。



コード入力の規定回数を越えると（デフォルトは3回）、ブロックされて入力を試すことができなくなります。ブロックされた場合にはXProtect Web Clientからログアウトし、ログインし直します。



XProtect Web Clientにログインしてブラウザタブを5分以上非アクティブのままにすると、セッションがタイムアウトし、アプリケーションから自動的にログアウトされます。

パスワードの変更



ユーザー資格情報を管理できるようにするには、XProtect VMS 2021 R1以降を使用しなくてはなりません。

パスワードを頻繁に変更すると、XProtect VMS システムのセキュリティが向上します。基本ユーザーとしてログインすると、いつでも自分のパスワードを変更できます。一方、Windows認証方法を選択すると、システム管理者のみがパスワードを変更できるようになります。

パスワードを変更するには、XProtect Web Clientのログインページに移動します。

1. **基本ユーザー**を選択します。
2. **パスワードを変更**リンク **3**をクリックして、新しいブラウザウィンドウを開きます。
3. **新しいパスワードを設定**ウィザードの指示に従い、新しいパスワードを保存します。
4. 変更を保存した後、現在のブラウザを閉じ、新しいパスワードを使用してXProtectWebClientにログインします。

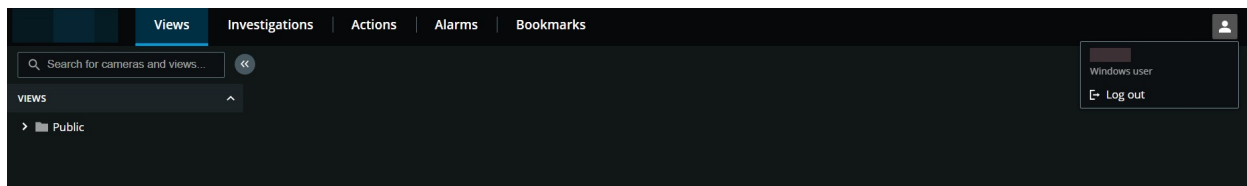


パスワードを忘れた場合は、システム管理者に連絡してください。次回ログイン時にパスワードを変更するようシステム管理者から求められます。



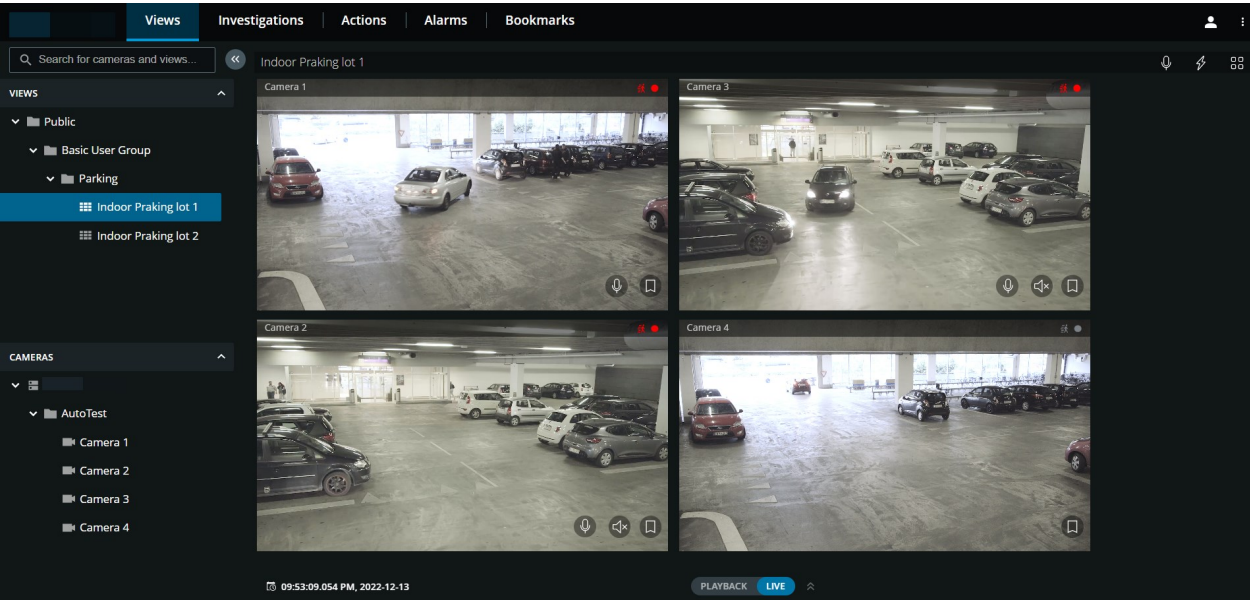
何度もログインに失敗すると、アカウントはロックアウトされます。ロックアウト時間が切れるのを待つか、システム管理者に連絡してください。システム管理者はアカウントを再び有効にできるほか、次回ログインの際にパスワードを変更するよう求める可能性があります。

ホームページの概要



上部のメニューバーのタブから、以下の操作ができます。

メニュー内のアイテム	可能なアクション
Milestoneロゴ	クリックして、XProtect Web Clientの ホーム ページに戻ります。
ビュー	• クリックしてビュー構造内の最後の位置に戻ります。 • 1台または複数台のカメラのライブビデオを表示します（27 ページのライブビデオを見る（説明付き）を参照）。 • 1台または複数台のカメラの録画を再生します（49 ページの1台のカメラから録画を再生すると52 ページの複数のカメラからの録画映像（説明付き）を参照）。
調査	• 複数のカメラから録画を再生します（52 ページの複数のカメラからの録画映像（説明付き）と68 ページのビデオのエクスポートとダウンロードの準備を参照）。 • 調査を作成します（62 ページの1台またはそれ以上のカメラで調査を作成するを参照）。
アクション	ドアを開けるなどのアクションを有効にします（ 73 ページのアクションの有効化 を参照）。
アラーム	すべてのカメラからのアラームを表示します（ 72 ページのアラームを表示 を参照）。
ブックマーク	ブックマークのリストを表示します（ 32 ページのブックマーク（使用） を参照）。
ユーザーメニュー 	XProtect Web Clientを終了するには、  をクリックして ログアウト を選択します。
詳細メニュー 	詳細メニューをクリックして、以下を実行します。 • 設定を選択して、XProtect Web Clientをカスタマイズします（13 ページの設定を参照）。 • 詳細を選択すると、ドキュメントポータルに移動し、XProtect Web Clientの詳細を読むことができます。 • XProtect Web Clientの最も重要な新機能に関するチュートリアルを見るには、ガイドツアーを再起動を選択します。



左側のペインは、折りたたむことができます。ペインを折りたたむには、 をクリックします。ペインの境界は左または右ヘドラッグして、調整することもできます。

このペインでは、ペインの各セクションに移動して、以下を行うことができます。

メニュー内のアイテム	可能なアクション
カメラおよびビューの検索 	フォルダ、ビュー、カメラの名前を入力して検索します。XProtect Management Client で定義したカメラの説明からキーワードを入力してカメラを検索することもできます。ビューのリストから、関連性のないアイテムをフィルターで除外できます。一致するビューがハイライト表示されます（ 25 ページのカメラの検索 を参照）。
ビュー	ライブまたは再生モードで、1台以上のカメラのビデオを表示します。 ビュー ペインには、 表示]/[非表示 オプションがあります。 プライベート フォルダーと パブリック フォルダーには、内部にビューを含むサブフォルダーのあるリストがあります。
カメラ	1台のカメラのビデオをライブまたは再生モードで視聴することができます。 カメラ ペインには、 表示]/[非表示 オプションがあります。カメラグループおよび関連デバイスは、内部にカメラを含むフォルダーのリスト内で整理されています。

カメラの検索

[**ビュー**] タブで、以下を実行します。

1. **[カメラとビューの検索]**フィールドに移動します。
2. フォルダー、ビュー、またはカメラの名前を入力します。XProtect Management Clientで定義したカメラの説明からキーワードを入力してカメラを検索することもできます。テキストを入力すると、結果が表示されます。ビューのツリー構造リストから、無関係な項目をフィルターで除外することができます。一致するビューがハイライト表示されます。
3. カメラをクリックすると、ライブまたは録画ビデオの追加オプションが表示されます（[27 ページのライブビデオを見る（説明付き）](#)と[49 ページの1台のカメラから録画を再生する](#)を参照）。

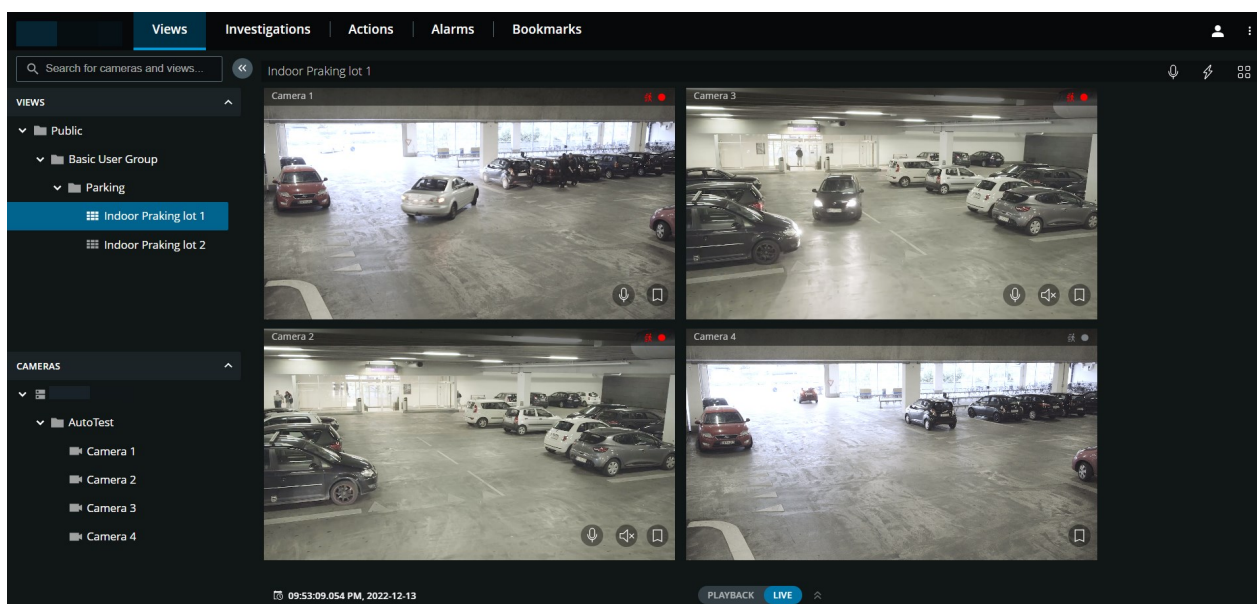


空の検索フィールドをクリックすると、**最近の検索**リストで過去7回分の検索結果を見ることができます。

カメラに移動する

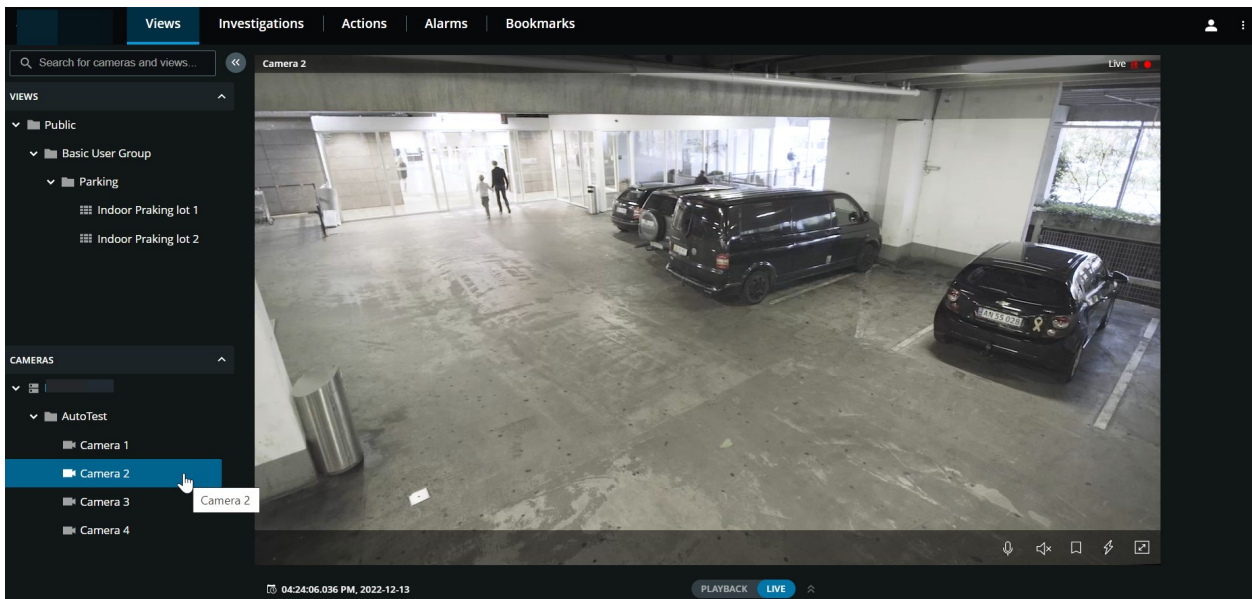
ビュータブの左側のペインからカメラに移動することができます。

ビューペインセクションで、以下の手順に従います。



1. フォルダーに移動し、そのサブフォルダーをクリックして、カメラのビューを表示します。
2. カメラがあるビューで、ライブビデオを観る、またはそのビューのすべてのカメラから録画を再生します。どのカメラにマイクとスピーカーがあるかを確認します。また、ライブビデオにクイックブックマークを作成、または録画に詳細ブックマークを作成します。
3. カメラをクリックし、ライブビデオを表示、またはそのカメラからの録画を再生します（[49 ページの1台のカメラから録画を再生する](#)を参照）。

カメラペインセクションで、以下の手順に従います。



1. カメラを選択し、ライブまたは再生モードでビデオを表示します。カメラにマイクとスピーカーが付いているかどうかを確認します。また、ライブビデオにクイックブックマークを作成、または録画に詳細ブックマークを作成します。

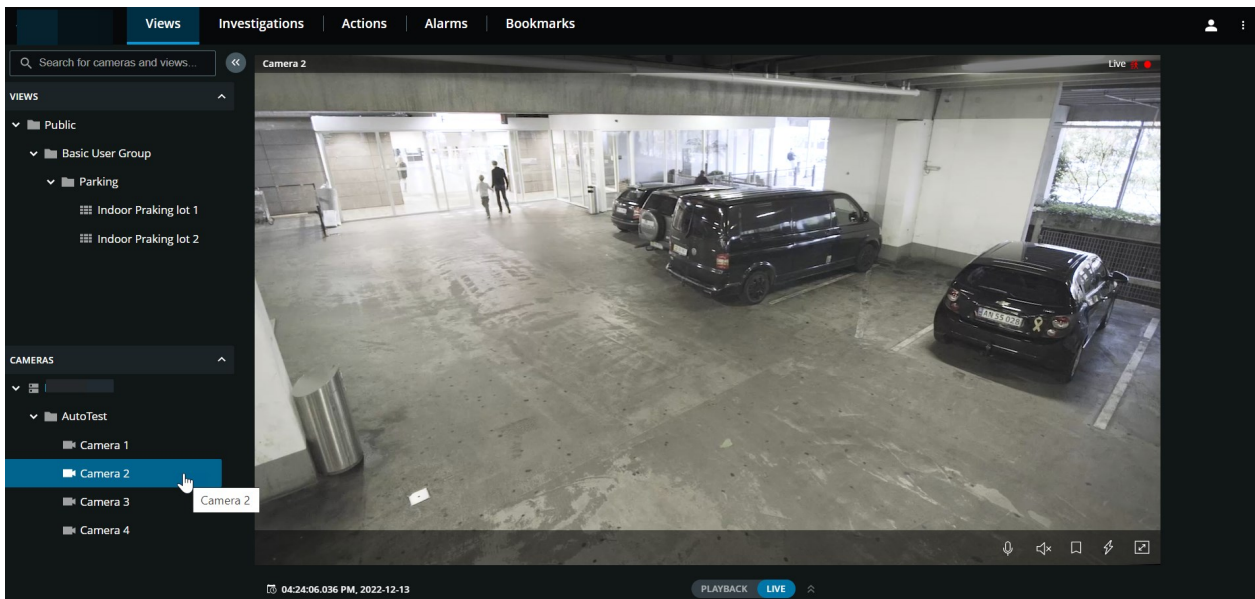
ライブビデオを見る（説明付き）

	「ライブビデオで可能なアクションは何ですか？ビデオの右上にある赤い記号は何ですか？」
---	---

1台のカメラのライブビデオを見る

ビュータブのカメラペインセクションで、以下を実行します。

- カメラがあるフォルダーに移動し、表示するカメラをクリックします。ビデオはライブモードで再生を開始します。
- 現在の時間インジケーター上のライブビデオの時間を確認します。

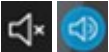


カメラのタイトルバーで、以下の操作が可能です。

- カメラの名前を確認します。
- 閲覧中のビデオがライブモードか再生モードかを確認します。
- カメラがモーション検知、ビデオ録画、またはその両方を行っているのかを確認します。

記号	モーションが検知されているか？	ビデオが録画されているか？
	⊗	⊗
	✓	⊗
	⊗	✓
	✓	✓

カメラツールバーで、以下を実行します。

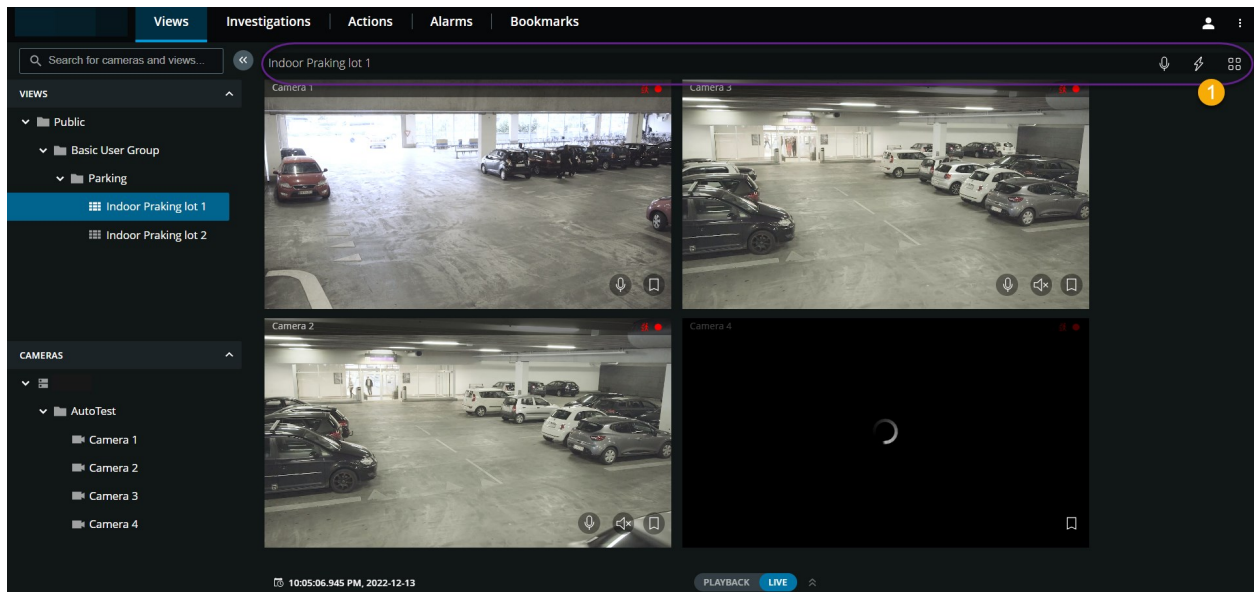
項目	可能なアクション
	PTZ カメラを動かしズームする (PTZ カメラのみ)。
	PTZカメラをXProtect Smart Clientで指定したPTZプリセット位置に動かす (プリセットされたPTZカメラのみ)。
	受信音声の再生を開始または停止します (11 ページの受信音声の再生要件 を参照)。
	1つのカメラへのプッシュ・トゥ・トークを開始するには、クリックして長押しします。音声の送信を終了するには、アイコンから手を放します (11 ページのプッシュ・トゥ・トークの使用要件 を参照)。
	ライブビデオにブックマークを追加して、関連するビデオシーケンスをすばやく見つけます (34 ページのブックマークを追加または編集する を参照)。

項目	可能なアクション
	カメラの全アクションを表示します。アクションを選択して有効にします。
	全画面表示にします。 Esc を再度クリックまたは押して、全画面表示を終了します。
	クリックしてタイムピッカーを開き、日時を選択すると、ビデオ内の特定の時点に移動します（ 54 ページの再生するビデオの時間を指定する を参照）。

複数のカメラのライブビデオを見る

ビュータブのビューペインセクションで、以下を実行します。

- ビューを含むフォルダーに移動し、目的のビューをクリックします。ビデオはライブモードで再生を開始します。



複数のカメラのビューでは、以下の操作が可能です。

- ビューのすべてのカメラのライブビデオを確認します。
- どのカメラにマイクが接続されているかを確認します。
- どのカメラにスピーカーが接続されているかを確認します。
- カメラがモーション検知、ビデオ録画、またはその両方を行っているのかを確認します。
- 現在の時間インジケーター上のライブビデオの時間を確認します。クリックしてタイムピッカーを開き、日時を選択すると、ビデオ内の特定の時点に移動します。
- カメラをクリックすると、そのカメラのみのライブビデオが表示されます。すべてのカメラのビューに戻るには、**ビューに戻る**をクリックします。

ビューのツールバー^①上で、以下を実行できます。

- ビュー内のすべての音声装置付きカメラに音声のブロードキャストを開始するには、をクリックして長押しします。
- をクリックして、ビュー内の全カメラの全アクションを表示します。アクションを選択して有効にします。
- カメラの単一ビュー表示でコンピュータの画面全体を使用するには、をクリックして**グリッドビュー**を開きます。

ビュータブを表示していて、特定のカメラグループまたはビューに移動し、その後別の画面に移動するか、ログアウトした場合、再度ログインして**ビュー**タブに戻ると、同じカメラグループまたはビューが表示されます。



ユーザー権限によっては、制限があるために特定のカメラからライブビデオを表示できない場合があります。

ブックマーク（使用）

この機能は、特定のXProtect VMS 製品でのみ使用できます。すべての機能のリストをご確認ください。リストは、MilestoneWeb サイト（<https://www.milestonesys.com/products/software/xprotect-comparison/>）の製品概要ページにあります。

ブックマークは、目的のビデオシーケンスをすばやく探し出すことを可能にします。ライブモード（[27 ページのライブビデオを見る（説明付き）](#)）を参照）と再生モード（[49 ページの1台のカメラから録画を再生すると52 ページの複数のカメラからの録画映像（説明付き）](#)）を参照）の両方でブックマークを追加できます。ブックマークは、再生モードと調査のメインタイムラインで利用できます。

ブックマーク（説明付き）

ブックマークは、基本的に小さなビデオクリップです。インシデントにブックマークを付けると、システムによって自動的にIDが割り当てられ、ブックマークを作成したユーザーが追加されます。

遅延があっても確実にインシデントが記録されるように、通常、ブックマークビデオクリップには、インシデントにブックマークを付けた時点から数秒前後（タイムインターバルはシステム管理者によって指定されます）のビデオが含まれます。



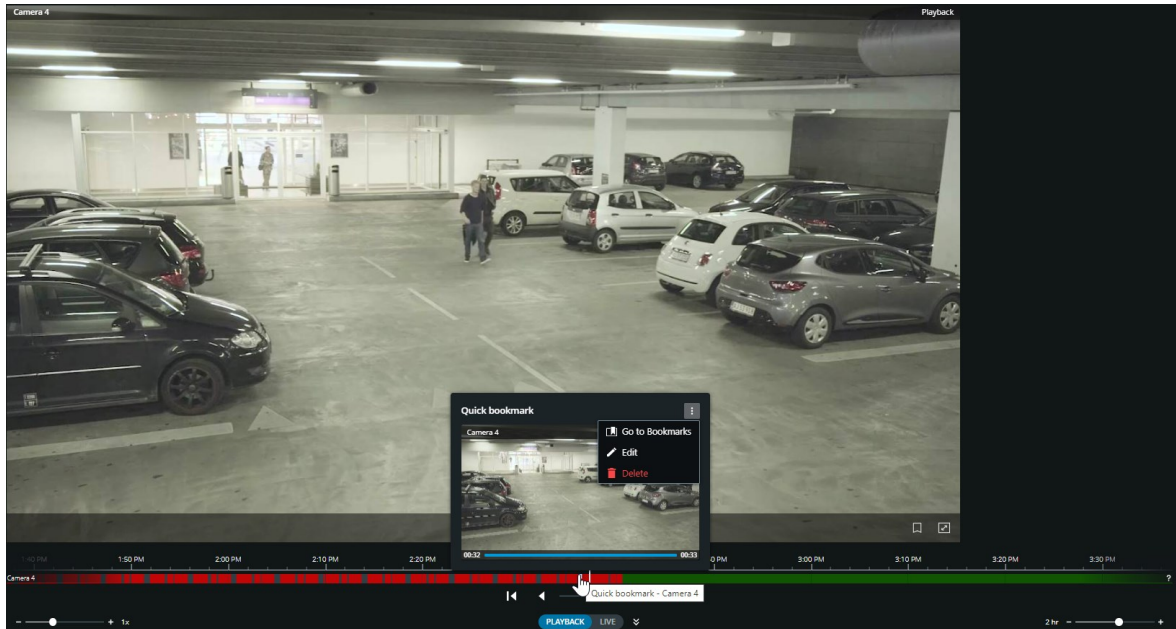
ユーザー権限によっては、制限により特定のカメラからブックマークを追加できない場合があります。ブックマークを追加できない場合でも、ブックマークを表示できる場合があります。その逆も同様です。

ブックマークの詳細を表示するか、ブックマークのビデオクリップを再生する

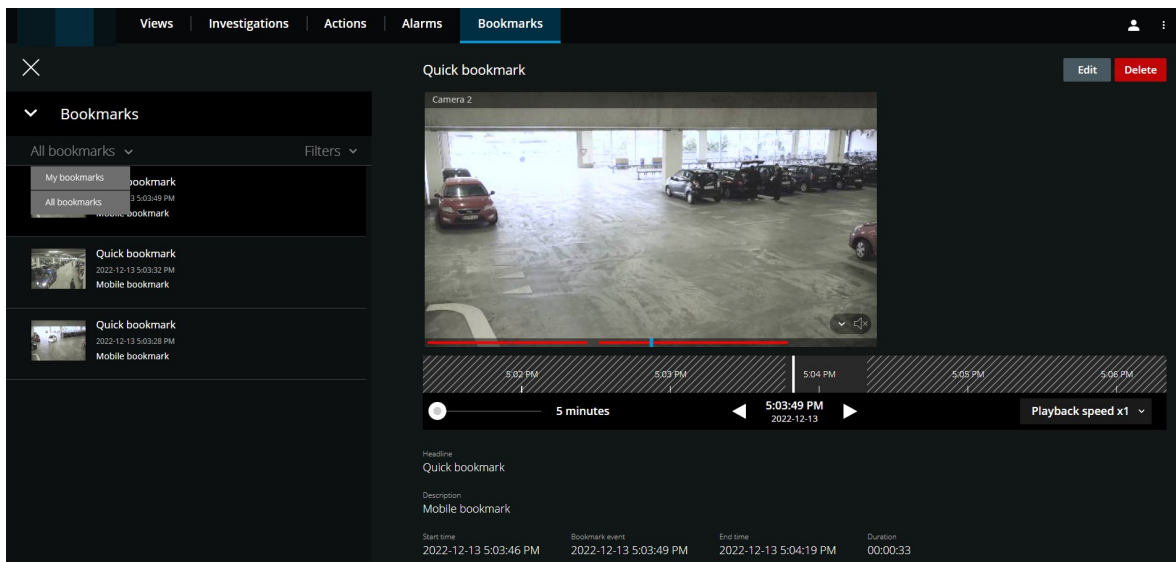
XProtect Web Clientでは、再生モードで、詳細なブックマークを作成して、作成後にブックマークを簡単に見つけられるようにできます。ブックマークに追加したビデオクリップでは音声も聴くことができます。

ブックマーク詳細を表示し、ブックマークのビデオクリップを再生する手順

- 再生モードまたは調査中のタイムラインで、表示したいブックマークのアイコンをクリックします。ブックマークプレビューがポップアップ表示され、ビデオクリップが繰り返し再生されます（[46ページの再生モードでのタイムラインの使用（説明付き）](#) または [59ページのタイムラインを使用した調査（説明付き）](#) を参照）。



- トップメニューバーで、**ブックマーク**をクリックしてブックマークリストを開きます。
- ブックマークリストで、すべてのユーザーが作成したすべてのブックマークのリストを開く場合は**すべてのブックマーク**、自分で作成したブックマークのみのリストを開く場合は**マイブックマーク**を選択します。



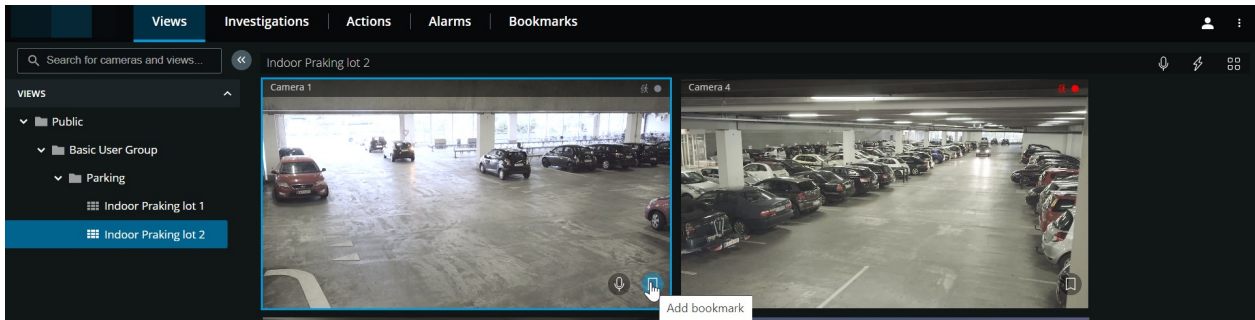
- 表示するブックマークに移動して、ブックマークをクリックします。ブックマークの詳細ペインが表示されます。
- オプション。ブックマークのリストが長い場合は、**さらに読み込む**をクリックします。
- タイムラインでブックマークのビデオクリップを順方向で再生するには 、ビデオクリップを巻き戻し再生するには  をクリックします。タイムラインバーの右下にある**再生速度**リストから、ビデオの再生速度を選択します。タイムラインの左下にあるスライダーをドラッグして、ブックマークのビデオクリップの特定の時間を指定します。
- 詳細なブックマーク情報を表示するには、以下の手順に従います。

名前	説明
見出し	ブックマークの題名には最大50文字まで入力できます。このフィールドは必須です。
説明	ブックマークの追加の説明。このフィールドは任意です。
開始時間	ブックマーククリップの推奨開始時間は、ブックマークイベントの開始時間の数秒前です。開始時間は、システム管理者が指定します。
ブックマークイベント	ブックマークイベントがトリガーされた時のビデオクリップの時間。
終了時間	ブックマーククリップの推奨終了時間は、ブックマークイベントの時間から数秒後です。終了時間は、システム管理者が指定します。
継続時間	ブックマークビデオクリップの継続時間。
カメラ名	ブックマークビデオクリップをストリーミングするカメラの名前。
ブックマークID	ブックマークに自動的に割り当てられる一意のID番号。
追加者	ブックマークを作成したユーザー。

ブックマークを追加または編集する

ライブビデオやビデオ録画にブックマークを追加できます。

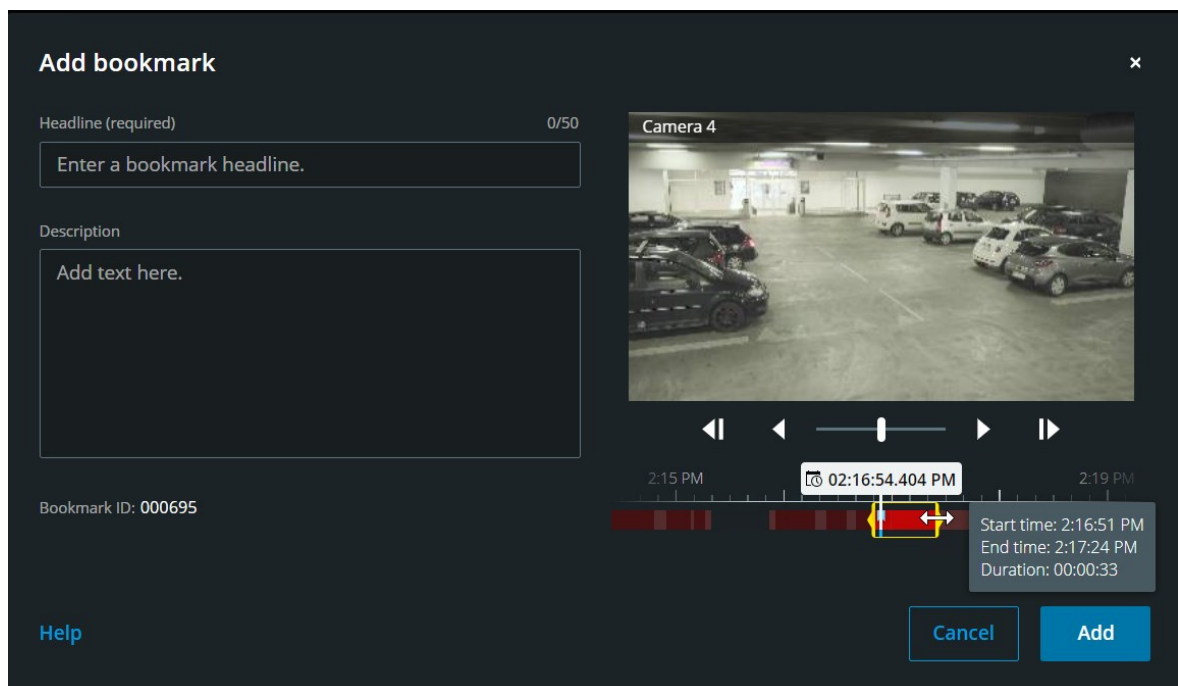
ライブモードでビデオにブックマークを追加する手順



1. ビュータブでカメラビューを選択し、ビューに必要なカメラを選択します。
2. カメラツールバーで、をクリックします。ブックマークは、システムによって自動的に割り当てられた**クイックブックマーク**という名前で追加されます。

再生モードでビデオにブックマークを追加する手順

1. ビュータブでカメラビューを選択し、ビューに必要なカメラを選択します。
2. **再生**をクリックし、再生モードに切り替えます。
3. カメラツールバーで、をクリックします。**ブックマークの追加**ウィンドウが表示されます。

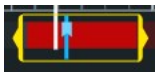


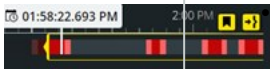
4. [ヘッドライン] フィールドに、ブックマークの名前を入力します。題名には最大50文字まで入力することが

できます。

5. オプション。説明フィールドに、インシデントの説明を入力します。

6. オプション。ブックマークイベントの時間とビデオクリップの開始時間/終了時間はシステム管理者によって指定されますが、これらの設定は調整できます。このためには、タイムライン コントロールと時間選択ブラケットを使用します。

項目	可能なアクション
	再生スライダーをクリックし、左または右にドラッグします。再生スライダーを離すと、選択された時間位置からブックマークの再生が開始されます。以下も実行可能です。 - タイムライン追跡を左右にドラッグして時間内を移動します。 - タイムラインをブックマークにカーソルを合わせ、Ctrlキーを押しながらマウスホイールを同時にスクロールすると、タイムスパンにズームインします。
	ブックマークのビデオクリップを時間的に逆または順方向に再生します。
	ブックマークのビデオクリップの再生を一時停止します。
	前または次のフレームに移動します。
	- 黄色の時間選択ブラケットをドラッグして、ブックマークの開始/終了時間を変更します。青のタイムインジケータをドラッグして、ブックマークイベント時間を変更します。 - ブラケットをドラッグしてタイムラインの端まで来たら、そのブラケットをドラッグし続けると、タイムライン追跡が同時に作動を開始します。この方法で、ビデオの開始時間や終了時間を、以前はタイムラインに表示されていなかった時間帯に移動させることができます。 - また、タイムライン追跡をクリックしたまま左または右にドラッグすれば、ビデオ内の特定の時間に移動することもできます。 - ブラケットの上にカーソルを置くと、ビデオの開始/終了時間と期間がヒントに表示されます。ブラケットをドラッグすると、ヒントの時間値がドラッグと同時に更新されます。

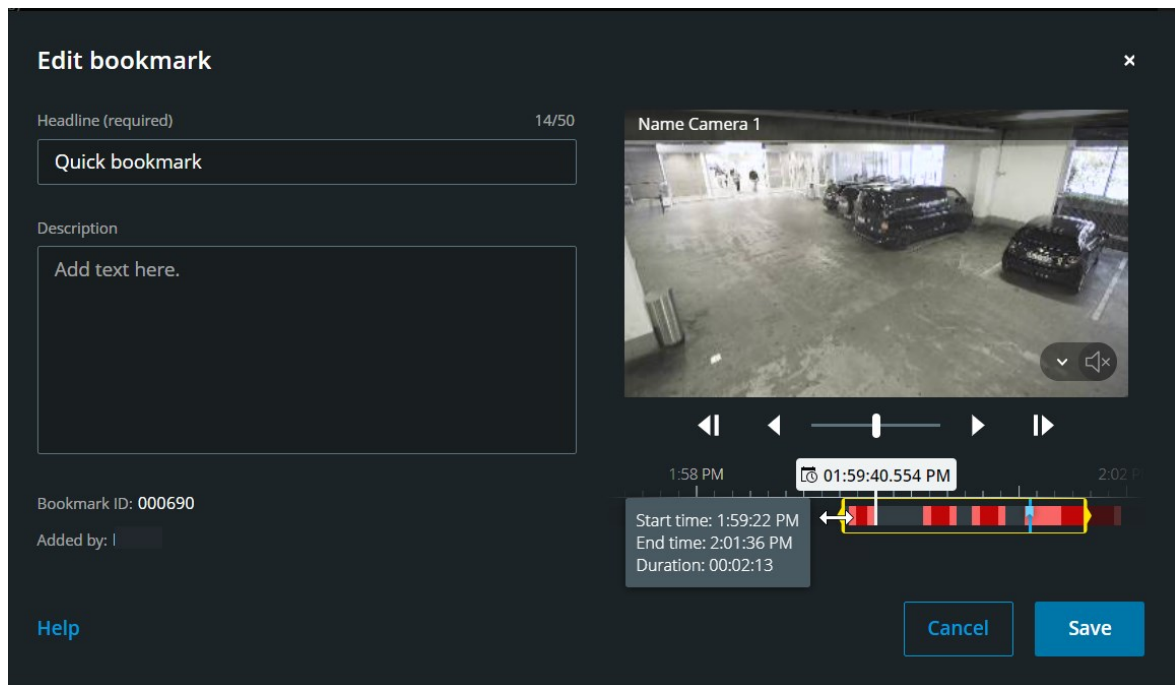
項目	可能なアクション
	時間選択ブラケットをタイムラインの左端または右端を越えてドラッグした場合、ナビゲーションボタンのいずれかを選択し、以下の操作を行います。   - 開始時間ブラケットに移動   - 終了時間ブラケットに移動  - ブックマークイベント時間に移動

7. [追加] をクリックします。

ブックマークを編集する手順

- ビュータブまたは調査タブで録画をモニターしながら、タイムラインからブックマークを直接編集できます（46 ページの再生モードでのタイムラインの使用（説明付き）または59 ページのタイムラインを使用した調査（説明付き）を参照）。

- トップメニューバーで、**ブックマーク**をクリックしてブックマークリストを開きます。すべてのユーザーが作成したすべてのブックマークのリストを開くには、**すべてのブックマーク**、自分で作成したブックマークのみのリストを開くには、**マイブックマーク**を選択します。表示するブックマークに移動して、ブックマークをクリックします。ブックマークの詳細を含むペインの右上にある**編集**をクリックします。**ブックマークの編集**ウィンドウが表示されます。



1. **ヘッドライン**フィールドまたは**説明**フィールドに変更内容を入力します。
2. タイムライン コントロールを使用すると、時間選択ブラケット内でビデオを逆方向または順方向に再生し、ビデオ内の特定の時点に移動します。
3. 黄色の時間選択ブラケットをドラッグすると、ブックマークの開始/終了時間を調整できます。時間選択ブラケットをタイムラインの左端または右端からドラッグした場合は、タイムラインの上にある黄色のナビゲーションボタンを使用します。
4. 青のタイムインジケータをドラッグして、ブックマークイベント時間を変更します。
5. **[保存]**をクリックします。

ブックマークを削除

ユーザー権限に応じて、自分自身または他のユーザーが作成したブックマークを削除できます。ブックマークを削除すると、データベースから削除され、アクセスできなくなります。

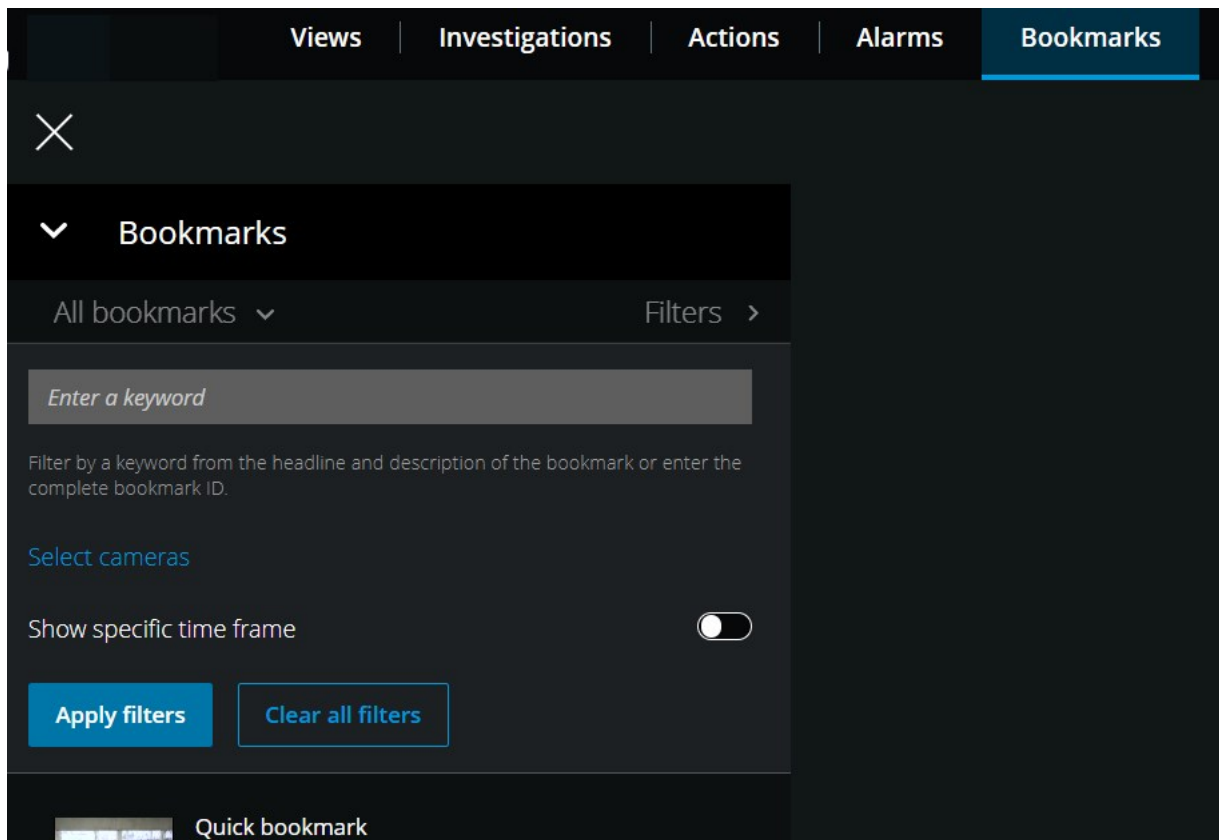
ブックマークを削除する手順

- ビュータブまたは**調査**タブで録画をモニターしながら、タイムラインからブックマークを直接削除できます（[46 ページの再生モードでのタイムラインの使用（説明付き）](#)または[59 ページのタイムラインを使用した調査（説明付き）](#)を参照）。

- トップメニューバーで、**ブックマーク**をクリックしてブックマークリストを開きます。すべてのユーザーが作成したすべてのブックマークのリストを開くには、**すべてのブックマーク**、自分で作成したブックマークのみのリストを開くには、**マイブックマーク**を選択します。削除するブックマークに移動し、ブックマークをクリックします。ブックマークの詳細を含むペインの右上にある**削除**をクリックします。

確認メッセージで、**削除**をクリックします。

ブックマークをフィルターする



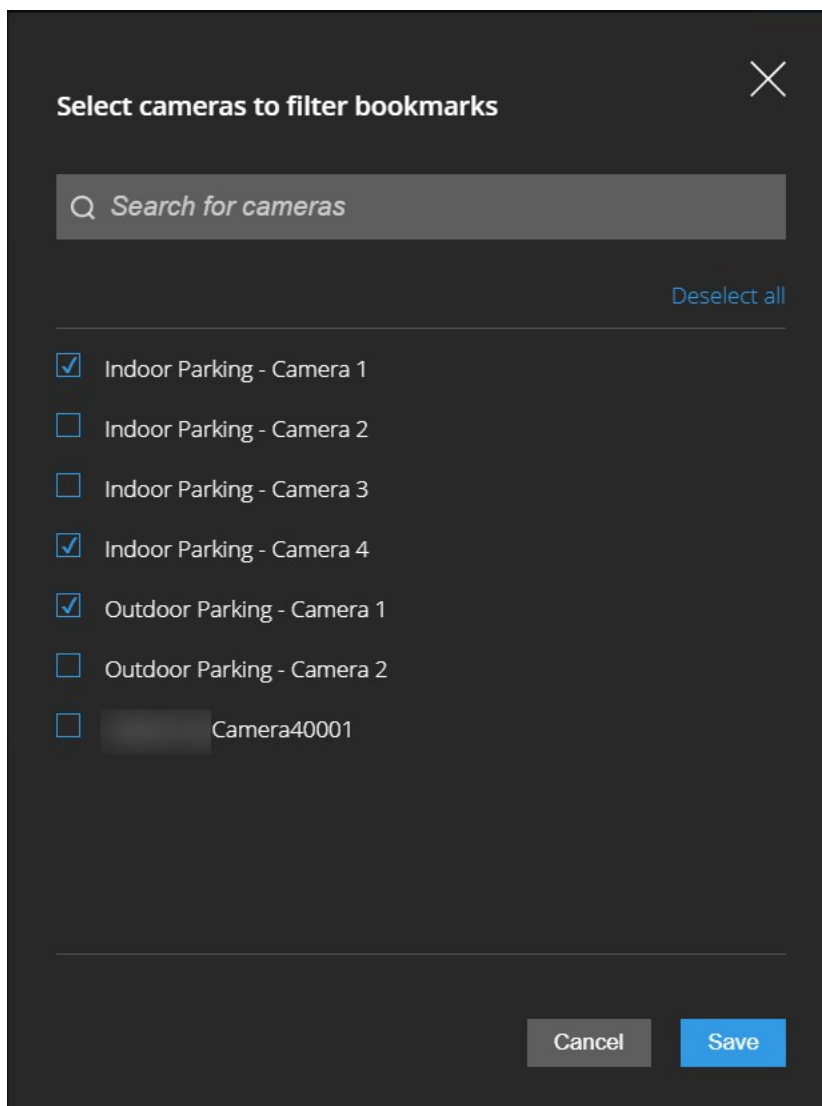
特定のブックマークを見つけるため、検索し、フィルターを使用できます。ブックマークにフィルターを適用する方法は3通りあります。

- ブックマークのヘッドラインまたは説明に含まれるキーワードを入力したり、ブックマークIDをすべて入力することができます。
- 指定のカメラを選択できます。
- 定義済みタイムインターバルを選択できます。フィルターとして適用するタイムインターバルをカスタマイズすることもできます。

キーワードでブックマークにフィルターする手順

1. **ブックマーク**タブで、**フィルター**リストを展開します。
2. **キーワード**を入力フィールドにブックマークのヘッドラインまたは説明に含まれるキーワードを入力するか、ブックマークIDをすべて入力します。
3. フィルターを適用するには、**フィルターを適用**をクリックします。
4. オプション。フィルターの選択を元に戻すには、**すべてのフィルターをクリア**をクリックします。

選択したカメラでブックマークをフィルターする手順

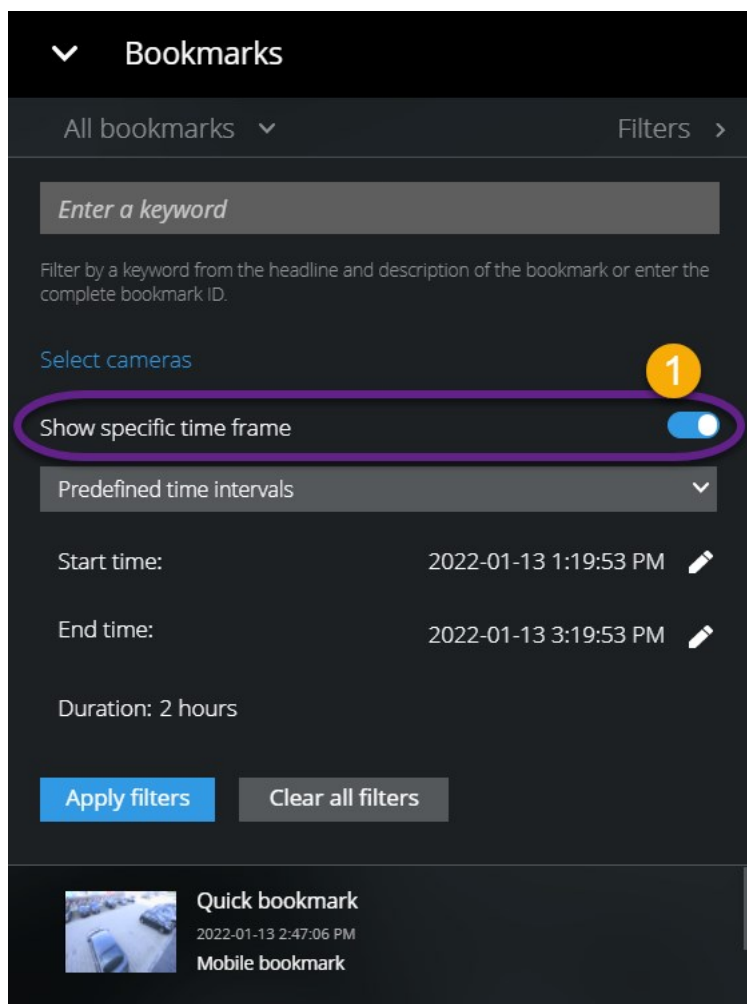


1. **ブックマーク**タブで、**フィルター**リストを展開します。
2. **カメラを選択**を選択します。**ブックマークにフィルターを適用するためカメラを選択**ウィンドウが開き、利用できるすべてのカメラのリストが表示されます。

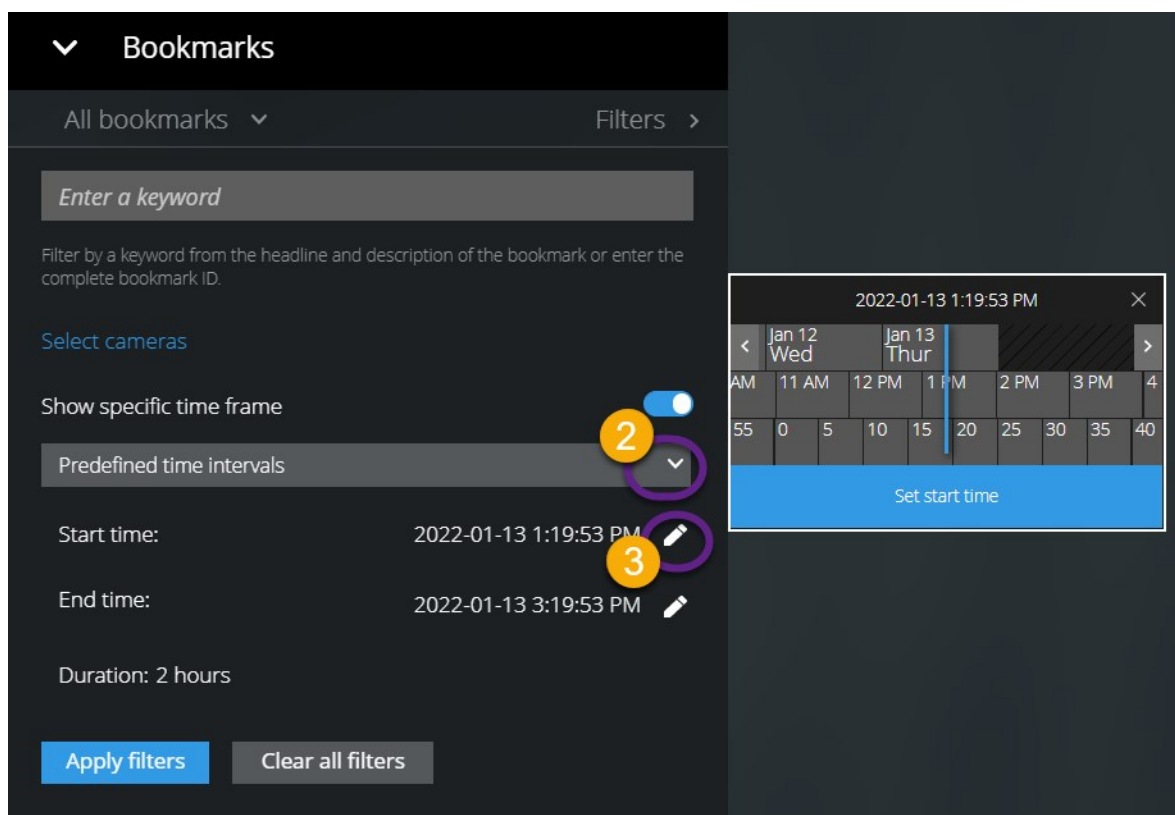
3. オプション。指定のカメラをすばやく見つけるには、**カメラの検索**オプションを使用します。
4. カメラリストから、フィルターとして適用するカメラを選択します。
5. オプション。選択を元に戻すには、各カメラのチェックボックスのチェックを外すか、**すべて選択解除**を選択します。
6. 選択内容を保存するには、**保存**をクリックします。
7. 選択したカメラをフィルターとして適用するには、**フィルターを適用**をクリックします。
8. オプション。フィルターの選択を元に戻すには、**すべてのフィルターをクリア**をクリックします。

定義済みまたはカスタマイズのタイムインターバルでブックマークをフィルターする手順

ブックマークしたビデオシーケンスの開始時間と終了時間の間に事前に設定したまたはカスタマイズした時間間隔の特定の時間枠を使用して、ブックマークのリストにフィルターを適用できます。時間枠のデフォルトの継続時間は**2時間**に設定されています。

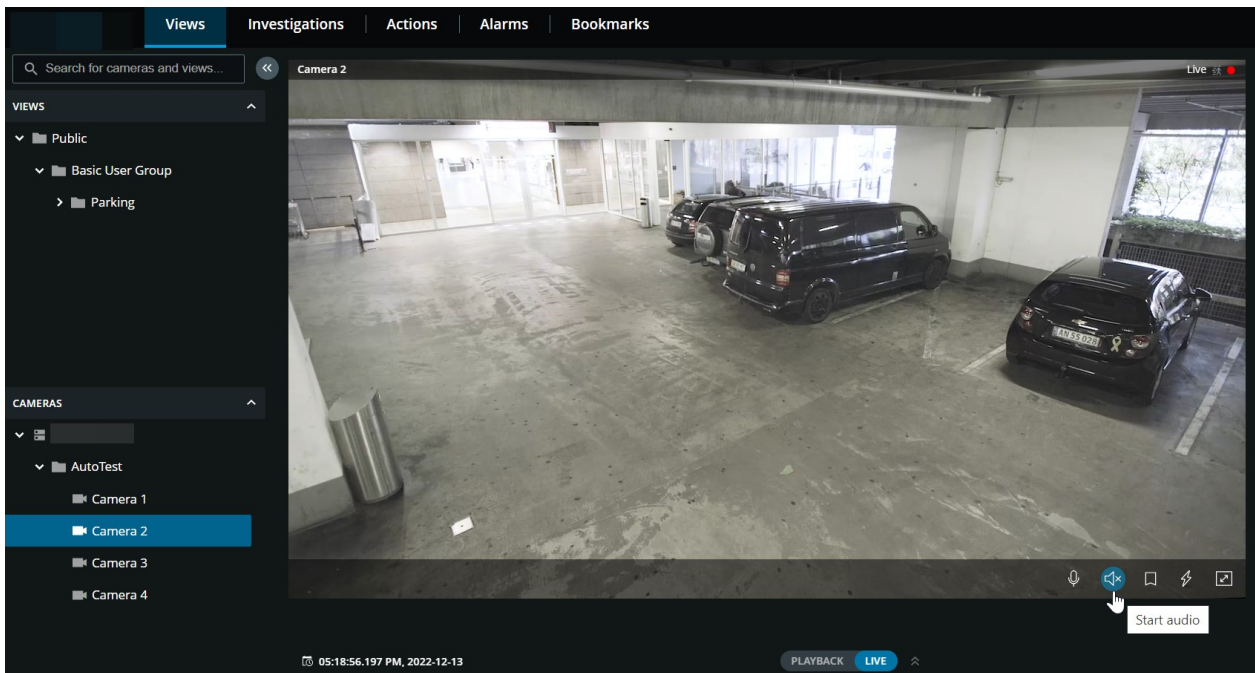


1. **ブックマーク**タブで、**フィルター**リストを展開します。
2. **指定時間枠を表示設定** **①**を有効にします。
3. **定義済み時間間隔** **②**のリストを展開し、以下のオプションのいずれかを1つ選択します。
 - 最後の2時間
 - 過去12時間
 - 過去6時間
 - 最後の24時間
 - 昨日
 - 最後の7日間



4. オプション。ブックマークしたビデオシーケンスの開始時間と終了時間の時間間隔をカスタマイズするには、**③**を選択し、タイムピッカーを開き、カスタムの開始時間または終了時間を設定します。
5. フィルターを適用するには、**フィルターを適用**をクリックします。
6. オプション。フィルターの選択を元に戻すには、**すべてのフィルターをクリア**をクリックします。

ライブモードで受信音声を再生



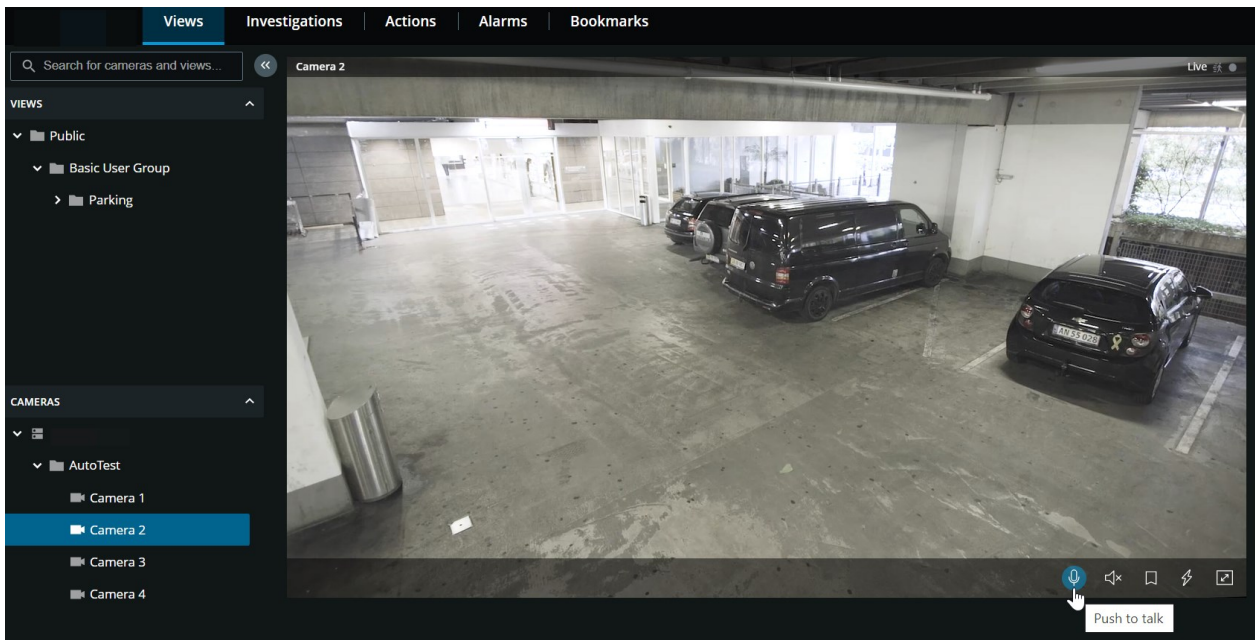
ビュータブで、カメラがあるビューを選択します。

1. マイクを接続したカメラを見つけてクリックします。
2. カメラのツールバーで  をクリックして、音声の再生を開始します。デフォルトでは、音声はミュートになっています。



カメラに接続されたマイクから受信するライブ音声は、カメラからのライブビデオストリームがない場合でも再生可能です。

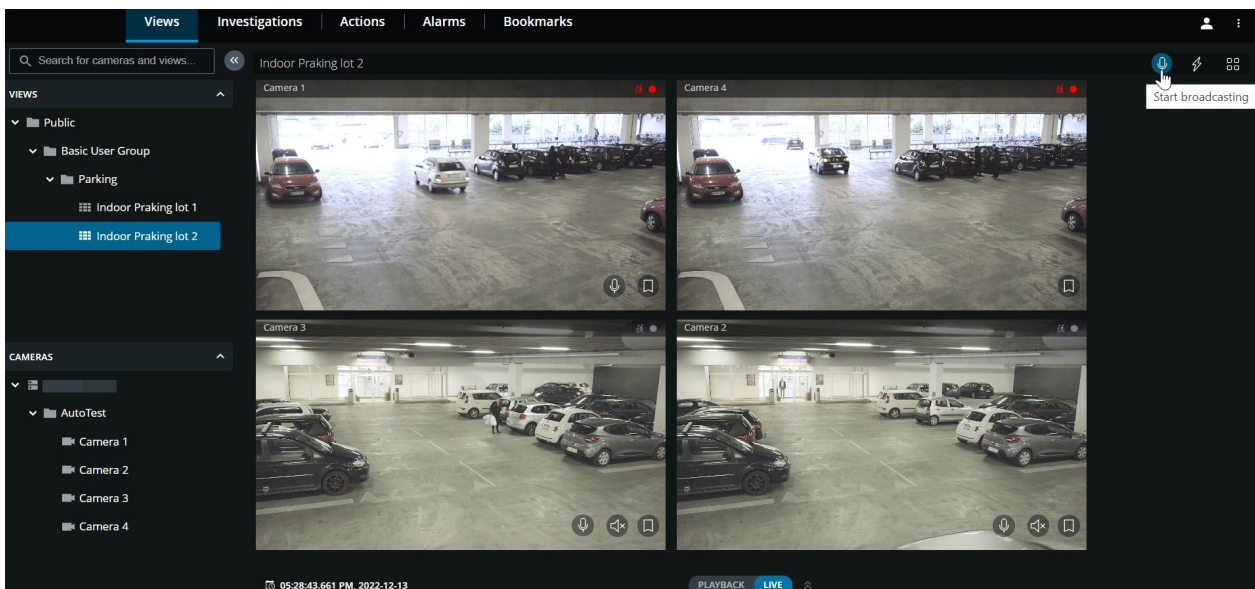
1つのカメラのライブビデオでプッシュ・トゥ・トークを使用



ビュータブで、カメラがあるビューを選択します。

1. スピーカーが接続されているカメラを探してクリックします。
2. カメラ ツールバーで  を長押しして、プッシュ・トゥ・トークの使用を開始します。
3. 音声の送信を終了するには、 から手を放します。

ライブビデオ内の複数のカメラに音声を配信する



ビュータブで、カメラがあるビューを選択します。

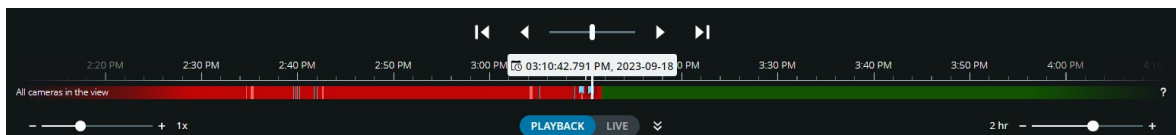
1. ビューツールバーで、をクリックして長押しし、ビュー内のスピーカーがあるすべてのカメラへの音声のブロードキャストを開始します。
2. 音声の配信を終了するには、から手を放します。

再生モードでのタイムラインの使用（説明付き）

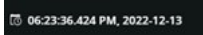
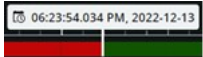
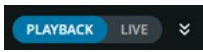
XProtect Web Clientでは、タイムラインを使用して録画を素早く検索して見つけることができます。

[**ビュー**] タブで、以下を実行します。

1. 1台のカメラまたはカメラがあるビューを探して、クリックします。タイムラインは、単一カメラと複数カメラビューのどちらでも利用できます。



- 再生モードに切り替えてタイムラインを表示すると、タイムライン コントロールを使って次の操作を行うことができます。

項目	可能なアクション
	再生スライダーをクリックし、左または右にドラッグします。再生スライダーを離すと、選択した時間で録画の再生が開始されます。
	ライブモードで、カメラビューペインの左下の現在の時間インジケータでビデオの現在の時間を表示します。クリックしてタイムピッカーを開き、日時を選択すると、ビデオ内の特定の時点に移動します。
	再生モードで、タイムラインの中央にある時刻インジケータに、録画内の選択した時間が表示されます。クリックしてタイムピッカーを開き、日時を選択すると、ビデオ内の特定の時点に移動します（ 54 ページの再生するビデオの時間を指定する を参照）。
	録画を巻き戻しまたは順再生します。
	録画の再生を一時停止します。
	前または次のシーケンスに移動します。
	ライブと再生モード間を素早く切り替えます。タイムラインを非表示または表示します。

項目	可能なアクション
	「?」のアイコンをクリックして、以下のタイムラインのカラーコード凡例を開きます。 - 灰色 – 録音/録画がない期間を示します。 - 緑 – 将来の期間を示します。 - 桃色 – 録音/録画がある期間を示します。 - 赤 – 動きのある録音/録画がある期間を示します。 - 水色 – 録音/録画にブックマークが追加されていることを示します。
	タイムラインの左下にある速度スライダーを左にドラッグするか、マイナス記号をクリックして、再生速度を遅くします。速度スライダーを右にドラッグするか、プラス記号をクリックして、再生速度を速めます。デフォルト値はx1です。
	タイムラインの右下にある時間スライダーを左へドラッグするか、マイナス記号をクリックして、ビデオ再生のタイムスパンを短縮します。時間スライダーを右へドラッグするか、プラス記号をクリックして、ビデオ再生のタイムスパンを拡張します。
	- ブックマークのアイコンにカーソルを合わせて、ブックマークの名前と、ブックマークのビデオクリップを録画したカメラの名前を表示します。 - ブックマークアイコンをクリックして、ブックマークのプレビューポップアップを開き、ブックマークのビデオクリップを再生します（32 ページのブックマーク（使用）を参照）。詳細メニューでは、以下のことができます。 ブックマークへ移動 - ブックマークタブのブックマークのリストにあるブックマークを開きます。ブックマークの詳細を表示したり、ブックマークを編集/削除できます。 編集 - ブックマークのヘッドライン、説明、タイムスパンを編集できます。 削除 - ブックマークを削除します。

- また、タイムライン追跡をクリックしたまま左または右にドラッグし、録音/録画中の特定の時間に移動します。

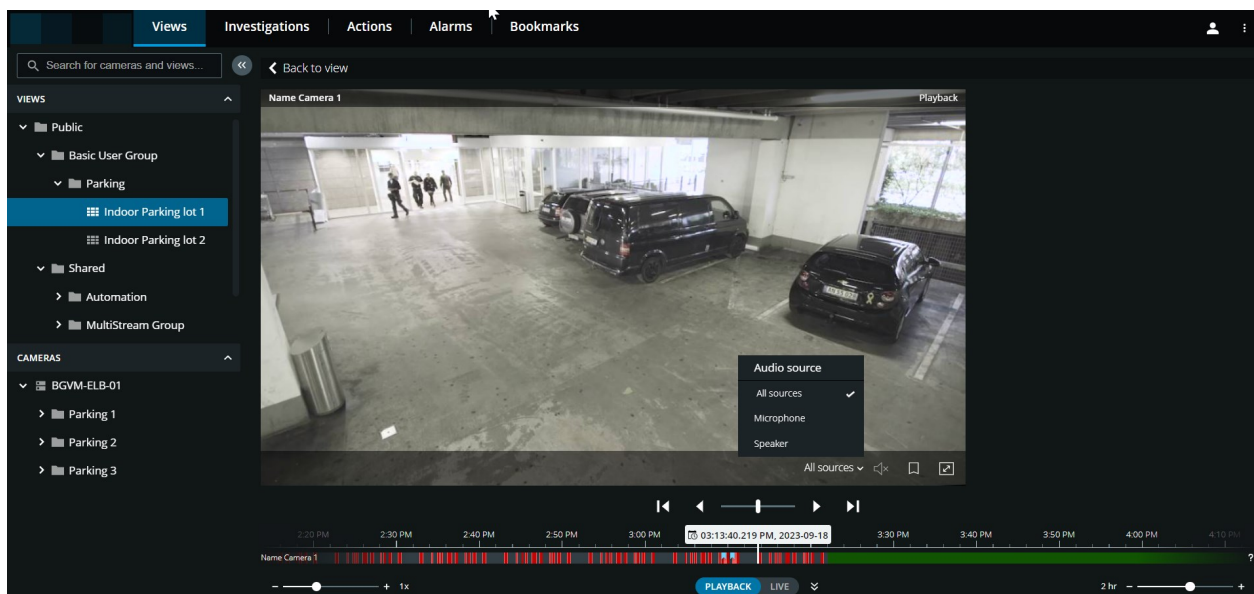
1台のカメラから録画を再生する



ビュータブと**調査**タブの両方で、1台のカメラからの録画を再生できます。

[**ビュー**] タブで、以下を実行します。

- カメラ**セクションで、カメラのフォルダーに移動し、表示するカメラをクリックします。ビデオはライブモードで再生を開始します。
- タイムライン上で[**再生**]をクリックし、再生モードのタイムラインが表示されるようにします（[46 ページの再生モードでのタイムラインの使用（説明付き）](#)を参照）。

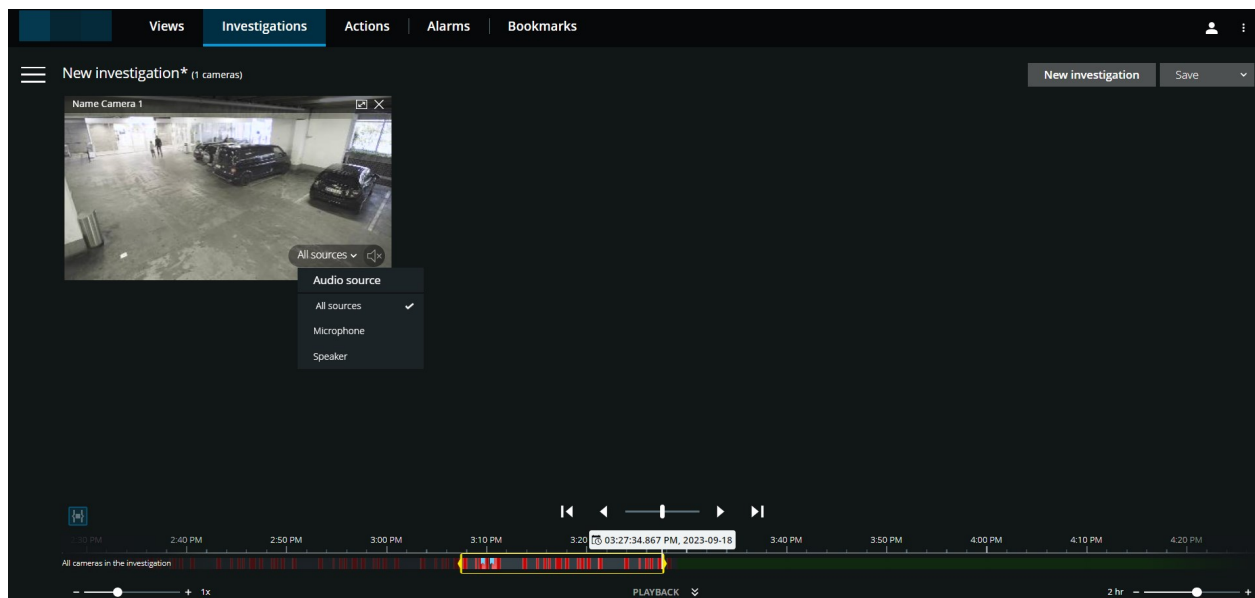


カメラツールバーで、以下を実行します。

項目	可能なアクション
	ビデオ録画が双方向音声の場合に、再生したい音源を選択します（ 11 ページのプッシュ・トゥ・トークの使用要件 、 51 ページのビデオ録画における音声の再生（説明付き） を参照）。
	ビデオ録画に録音された音声の再生を開始または停止します（ 11 ページの受信音声の再生要件 を参照）。
	録画されたビデオにブックマークを追加して、関連するビデオシーケンスをすばやく見つけます（ 34 ページのブックマークを追加または編集する を参照）。
	全画面表示にします。  をクリックするか Esc を押して、全画面表示を終了します。

[調査] タブで、以下を実行します。

1台のカメラの録画を再生したいが、選択したグループに複数台のカメラがある場合は、必要のないカメラを削除できます。これを行うには、[58 ページのビデオ再生から、必要のないカメラを削除できます](#)。の手順に従います。



1. タイムライン上で、時間選択モードまたはタイムピッカー（[59 ページのタイムラインを使用した調査（説明付き）](#)）または[54 ページの再生するビデオの時間を指定する](#)を参照）を使って、ビデオ再生の時間を指定します。
2. タイムライン コントロールを使用して、時間選択ブラケット内でビデオを再生または巻き戻しします。

3. オプション。通常のスピードでビデオ録画を再生する際に、をクリックして受信音声の再生を開始し、をクリックして停止します（カメラにマイクが接続されている場合）。
4. オプション。音声の再生を開始するには、停止するにはをタップします（カメラにマイクとスピーカーが接続されている場合）。ビデオ録画に双方向の音声がある場合は、再生する音源を選択します（[51 ページのビデオ録画における音声の再生（説明付き）](#)を参照）。



ビューを拡大するには、拡大するカメラにカーソルを置いて、カメラのタイトルバーのをクリックするか、カメラのサムネイルをクリックします。デフォルトのビューに戻るには、

Escキーを押すか、右上のをクリックします。

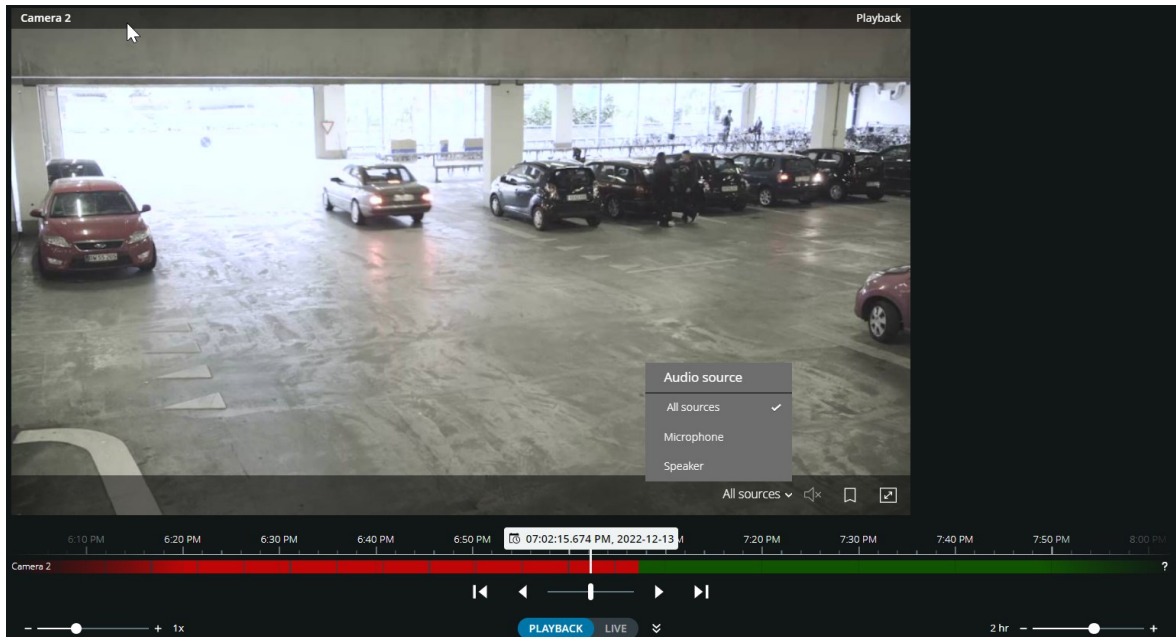
ビデオ録画における音声の再生（説明付き）

XProtect Web Clientでは以下が可能です。

- 再生モードでカメラ録画の音声を再生します。
- 調査でカメラ録画の音声を再生します。

カメラツールバーで、以下を実行します。

- 録音した受信音声を再生するには、ビデオ録画の再生中に  をクリックして音声の再生を開始します。



- 録音した受信音声と送信音声を再生するには、 をクリックして音声の再生を開始します。**音源**リストで、ビデオ録画の再生中に再生したい音声デバイスを選択します。オプションは以下のとおりです。
 - すべての音源**（デフォルト） - 録音された受信音声と送信音声の両方を再生します。
 - マイク** - 受信音声のみ再生します
 - スピーカー** - 送信音声のみ再生します



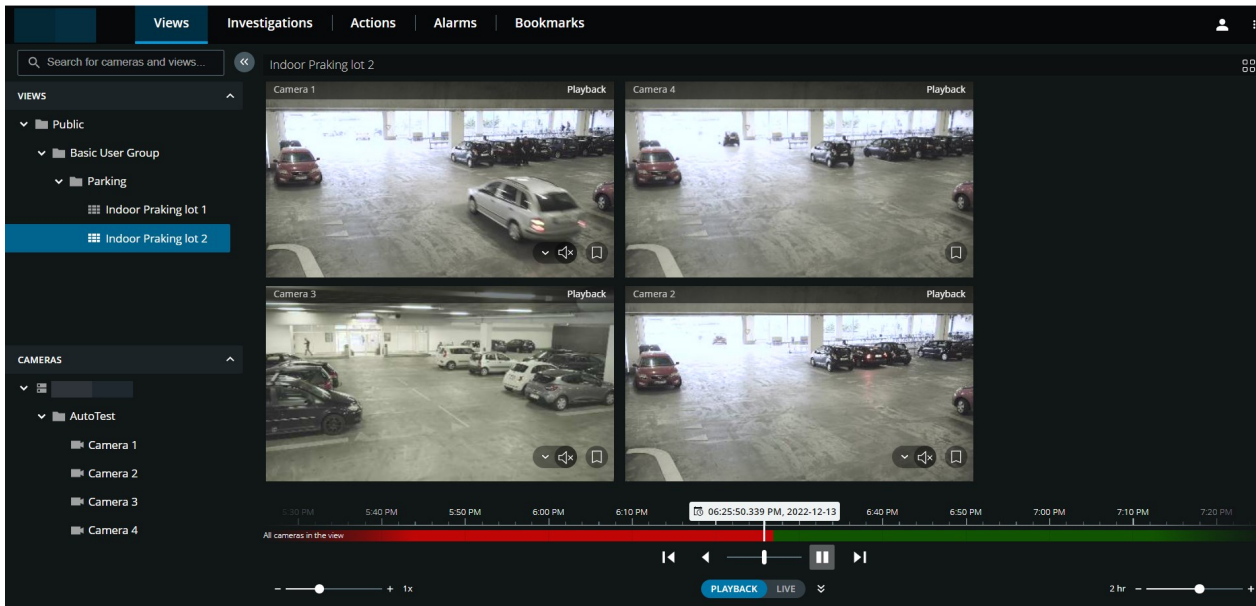
音声の再生は、ビデオ録画が存在し、かつ録画を通常の速度で再生する場合にのみ可能です。

複数のカメラからの録画映像（説明付き）

複数カメラからの録画は、**ビュー**タブと**調査**タブの両方で再生できます。

[**ビュー**] タブで、以下を実行します。

- ビュー**セクションで、ビューを含むフォルダーに移動し、目的のビューをクリックします。ビデオはライブモードで再生を開始します。
- タイムライン上で [**再生**] をクリックし、再生モードのタイムラインが表示されるようにします（[46 ページの再生モードでのタイムラインの使用（説明付き）](#)を参照）。



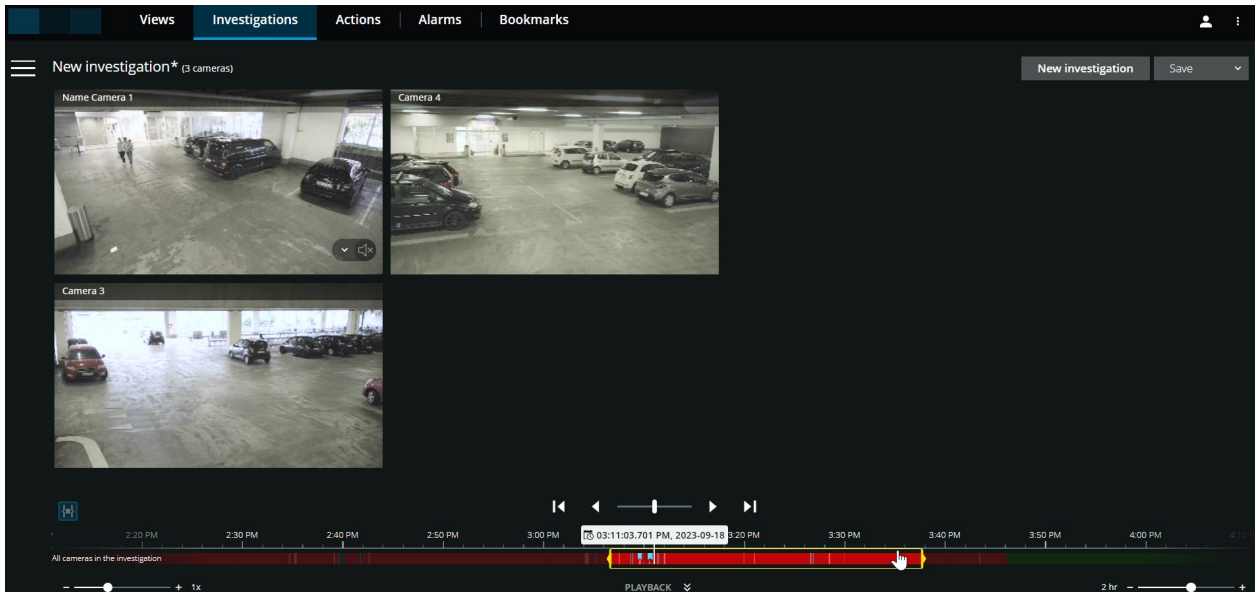
複数のカメラのビューでは、以下の操作が可能です。

- ビュー内のすべてのカメラからの録画を確認します。
- どのカメラにマイクが接続されているかを確認します。
- どのカメラにスピーカーが接続されているかを確認します。
- カメラをクリックし、そのカメラの録画のみを表示します。すべてのカメラのビューに戻るには、**ビューに戻る**をクリックします。

ビューのツールバー上で、以下を実行します。

- カメラの単一ビュー表示でコンピュータの画面全体を使用するには、 をクリックして**グリッドビュー**を開きます。

調査タブでは、調査を作成せずに録画を再生できます。



このモードでは、以下の操作が可能です。

- 再生するカメラを選択し、指定した時間帯に録画がないカメラを削除します（58 ページのビデオ再生から、必要のないカメラを削除できます。を参照）。
- 再生する録画の時間を指定します（54 ページの再生するビデオの時間を指定するを参照）。
- 録画の開始時間と終了時間を指定します（59 ページのタイムラインを使用した調査（説明付き）を参照）。
- 選択したカメラグループのすべてのカメラから録画を同時に再生します。
- 選択したカメラグループの特定のカメラのビデオ録画の音声再生を開始、停止します（51 ページのビデオ録画における音声の再生（説明付き）を参照）。

再生するビデオの時間を指定する



「特定の時間に戻り、その時間帯の映像を見る必要があります。」



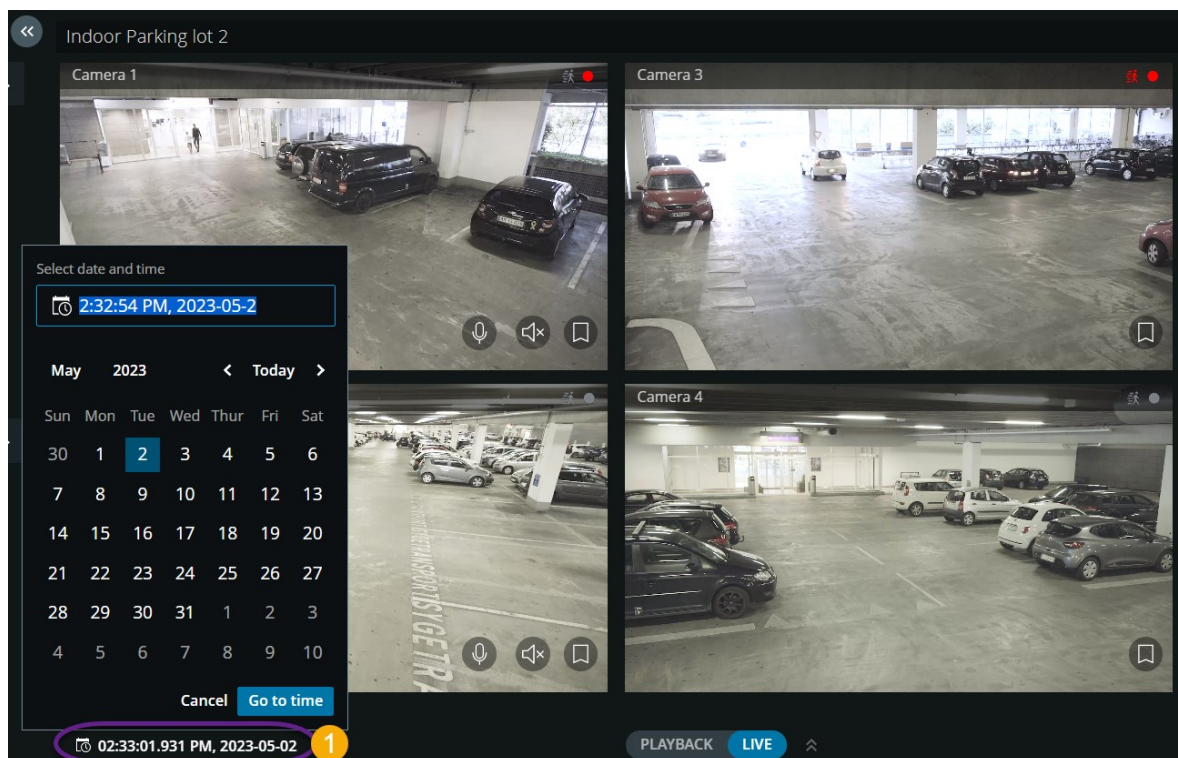
XProtect Web Clientでは、アプリで表示される時刻情報はコンピュータで設定しているタイムゾーンを引き継ぎます。これにはライブおよび再生モード、アラーム、ブックマークなどで表示される時刻が含まれます。

特定の時点からビデオを再生するには、タイムライン コントロールを使用できます（[46 ページの再生モードでのタイムラインの使用（説明付き）](#) または [59 ページのタイムラインを使用した調査（説明付き）](#) を参照）。

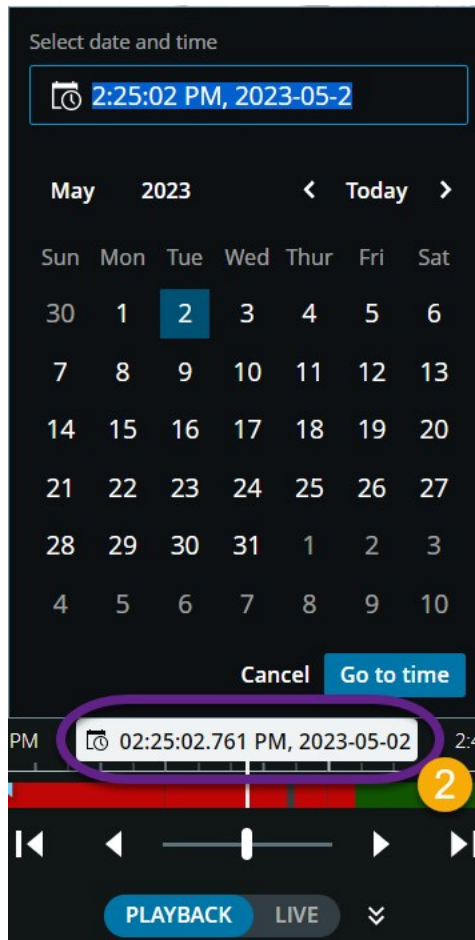
また、タイムライン追跡をクリックしたまま左または右にドラッグすれば、録画内の特定の時間に移動することもできます。

ビュータブでは、タイムピッカーを使ってビデオ再生の時間を指定できます。

1. 左側のペインで、カメラを検索してクリックするか、複数のカメラのビューを表示します。
2. タイムピッカーを開く方法
 - ・ ライブモードでは、ビューペインの左下で現在時刻のインジケータをクリックします **①**。



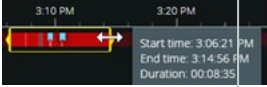
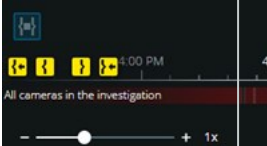
- ・ 再生モードでは、タイムラインの中央にある時刻インジケータをクリックします **②**。



3. 入力フィールドで、録画の日付と時刻の新しい値を手動で指定します。カレンダーから新しい日付を選択することもできます。
4. **[時間に移動]**をクリックします。

[調査] タブで、以下を実行します。

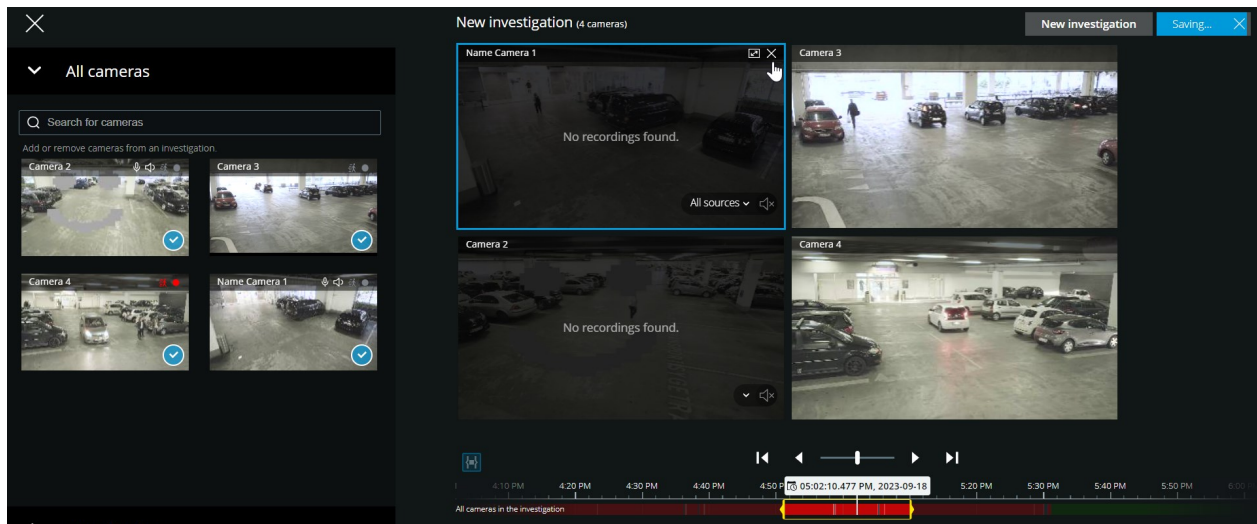
- タイムライン上のタイムピッカーから動画再生の日時を指定できます。そのためには、再生モードでタイムピッカーを使う手順に従ってください。
- タイムラインの時間選択モードで、動画再生の開始時間と終了時間を指定できます。

項目	可能なアクション
	• 黄色の時間選択ブラケットをドラッグして、選択されたビデオスニペットの開始/終了時間を変更します。 • ブラケットをドラッグしてタイムラインの端まで来たら、そのブラケットをドラッグし続けると、タイムライン追跡が同時に作動を開始します。この方法で、ビデオの開始時間や終了時間を、以前はタイムラインに表示されていなかった時間帯に移動させることができます。 • また、タイムライン追跡をクリックしたまま左または右にドラッグを開始すれば、録画内の特定の時間に移動することもできます。 • ブラケットの上にカーソルを置くと、ビデオの開始/終了時間と期間がヒントに表示されます。ブラケットをドラッグすると、ヒントの時間値がドラッグと同時に更新されます。
	時間選択モードがオンであることを示します。
	時間選択ブラケットをタイムラインの左端または右端を越えてドラッグした場合、ブラケットを調整するには、ナビゲーションボタンのいずれかを選択し、次の操作を行います。 •   - 開始時間ブラケットに移動 •   - 終了時間ブラケットに移動 •  - 開始時間ブラケットを現在の時間に合わせる •  - 終了時間ブラケットを現在の時間に合わせる  ナビゲーションボタンを使用している間、ビデオストリームは一時停止します。

ビデオ再生から、必要のないカメラを削除できます。



「ビデオを再生する前に、指定した時間帯に録画映像が含まれていないカメラを削除したいです。どうすればよいですか。」



調査タブで以下の操作を行い、カメラグループから不要なカメラを削除できます。

- カメラの上にカーソルを置いてから、右上の  をクリックします。
- サイドパネルの  をクリックします。
- サイドパネルで、削除するカメラをダブルクリックします。

調査エリア内のカメラ（説明付き）

ビュータブ上でカメラのグループを表示してから、調査タブに切り替えると、同じグループのカメラが調査エリアに表示されます



調査タブでは、ビューまたはグループ内の個々のカメラのみを閲覧できます。重複しているカメラは調査エリアには表示されません。

例：

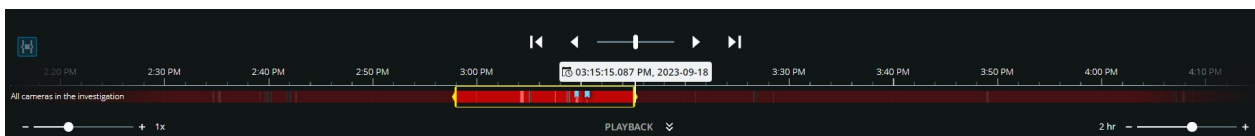
- ビュータブの**プライベート**フォルダーを開いている場合。**調査**タブをクリックすると、**プライベート**フォルダーにあるすべてのカメラが調査エリアに表示されます。

作成した調査で受信音声と送信音声を再生するには、以下を行う必要があります。

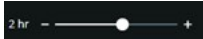
- 音声デバイス（マイクとスピーカー）の接続されているカメラを追加します（[11 ページの受信音声の再生要件](#)と[11 ページのプッシュ・トゥ・トークの使用要件](#)を参照）。
- 通常で速度でビデオ録画を順方向に再生します（[51 ページのビデオ録画における音声の再生（説明付き）](#)を参照）。

タイムラインを使用した調査（説明付き）

調査では



- タイムライン コントロールを使って録画をブラウズし、特定の時点からビデオを再生することができます。ビデオ再生は、時間選択ブラケットの間でどちらかの方向にループします。この機能により、録画したビデオを再生、巻き戻しし、選択したビデオスニペットを必要なだけ何度でも調べることができます。

項目	可能なアクション
	再生スライダーをクリックし、左または右にドラッグします。再生スライダーから手を離すと、選択した時間で録画の再生が開始されます。
	タイムラインの中央にある時刻インジケータに、録画内の選択した時間が表示されます。クリックしてタイムピッカーを開き、日時を選択すると、ビデオ内の特定の時点に移動します（ 54 ページの再生するビデオの時間を指定する を参照）。
	録画を巻き戻しまたは順再生します。
	録画の再生を一時停止します。
	前または次のシーケンスに移動します。
	タイムラインの右下にある時間スライダーを左へドラッグするか、マイナス記号をクリックして、ビデオ再生のタイムスパンを短縮します。 時間スライダーを右へドラッグするか、プラス記号をクリックして、ビデオ再生のタイムスパンを拡張します。
	タイムラインの左下にある速度スライダーを左にドラッグするか、マイナス記号をクリックして、再生速度を遅くします。 速度スライダーを右にドラッグするか、プラス記号をクリックして、再生速度を速めます。デフォルトのスピードは x1 です。

項目	可能なアクション
	- ブックマークのアイコンにカーソルを合わせて、ブックマークの名前と、ブックマークのビデオクリップを録画したカメラの名前を表示します。 - ブックマークアイコンをクリックして、ブックマークのプレビューポップアップを開き、ブックマークのビデオクリップを再生します（32 ページのブックマーク（使用）を参照）。詳細メニューでは、以下のことができます。 ブックマークへ移動 - ブックマークタブのブックマークのリストにあるブックマークを開きます。ブックマークの詳細を表示したり、ブックマークを編集/削除できます。 編集 - ブックマークのヘッドライン、説明、タイムスパンを編集できます。 削除 - ブックマークを削除します。

- また、タイムライン追跡をクリックしたまま左または右にドラッグすれば、録画内の特定の時間に移動することもできます。
- タイムピッカーで録画日時を指定できます。
- 時間選択モードを使用して、調査の開始時間と終了時間を指定することができます。

詳細については、[54 ページの再生するビデオの時間を指定する](#)をご参照ください。

全画面表示での表示の最適化

ビデオを全画面表示で視聴する際は、操作が5秒間なかった場合にタイムラインを自動的に非表示にし、表示エリアを最大限にすることができます。コンピュータを操作すると、タイムラインが再度表示されます。

- [詳細] メニューを選択します。
- [設定] を選択します。
- [全画面表示時のタイムラインの自動非表示] 設定を見つけ、有効にします。

1台またはそれ以上のカメラで調査を作成する



「オフィスにあるすべてのカメラの昨日午前9時30分頃からの録画を調査する必要があり、1ヶ月分の録画も保存したい。」

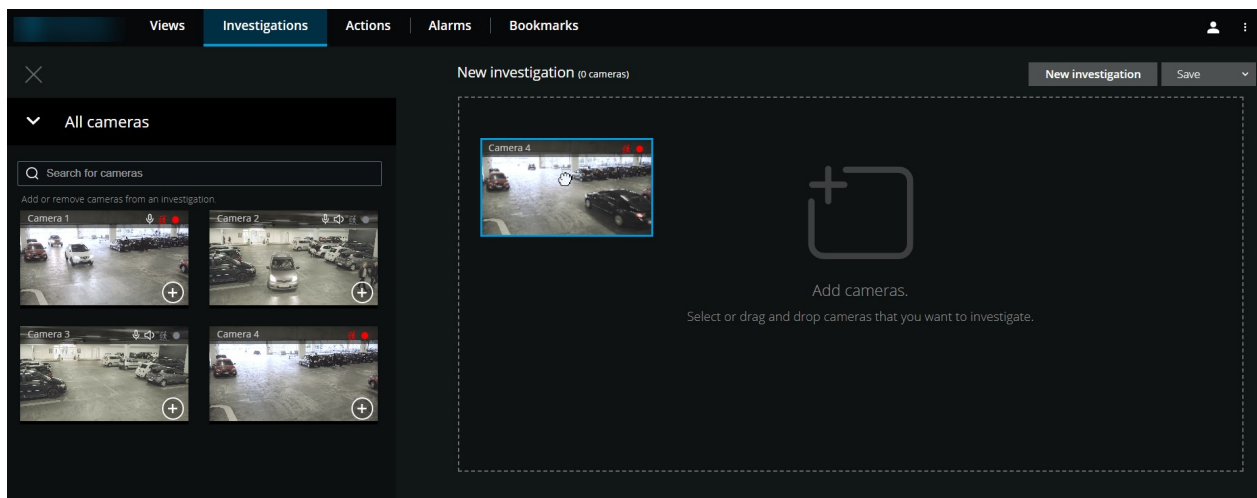
以下の場合、調査を作成する必要があります。

- ビデオ録画がすでにシステムデータベースから削除されていても、その録画を回数制限なく再生するため、保存期間より長く録画を保管する場合。



デフォルトで、システムデータベース内のビデオ録画の保存期間は7日間です。有効にすると、モバイルサーバーでの調査の保存期間もデフォルトで7日間になります（17 ページの録画および調査の保存期間と保存（説明付き）を参照）。

- ビデオ録画をエクスポートし、後でダウンロードして当局と共有する場合。



[調査] タブで、以下を実行します。

- 新しい調査をクリックします。
サイドパネルが左側に開きます。
- サイドパネルのすべてのカメラで、調査したいカメラを参照して検索できます。

3. 以下を行うことで、1台または複数のカメラを追加できます。

- 調査するすべてのカメラをクリックし、**新しい調査**エリアにドラッグ&ドロップします。
- 追加する各カメラの右下にある  をクリックします。

4. 追加したいカメラをダブルクリックします。

最高18台のカメラを調査に追加できます。調査したいカメラのビューにもっと多くのカメラが含まれている場合は、2つのオプションがあります。



- **カメラの追加**を選択して、最初の18台のカメラを調査に追加します。
- **空の調査を開く**を選択して、調査に追加するカメラをカスタマイズします。

5. タイムピッカーを使って、調査したい録画の日時を指定します。

選択した時間は、新しい調査に追加したカメラすべてに適用されます（[54 ページの再生するビデオの時間を指定する](#)を参照）。

6. タイムラインでは、再生する録画のタイムスパンを指定できます。

選択したタイムスパンは、新しい調査に追加したカメラすべてに適用されます（[59 ページのタイムラインを使用した調査（説明付き）](#)を参照）。

7. **保存**リストから、**名前を付けて保存**を選択します。

調査を保存フォームが開きます。

8. **調査名**フィールドには、新しい調査の名前を入力してください。

9. **[OK]** をクリックします。

新しい調査の設定が保存されます。



ビューを拡大するには、拡大したいカメラにカーソルを当てて、右上の  をクリックするか、カメラのサムネイルをクリックします。デフォルトのビューに戻るには、

Esc キーを押すか、右上の  をクリックします。

カメラを既存の調査に追加



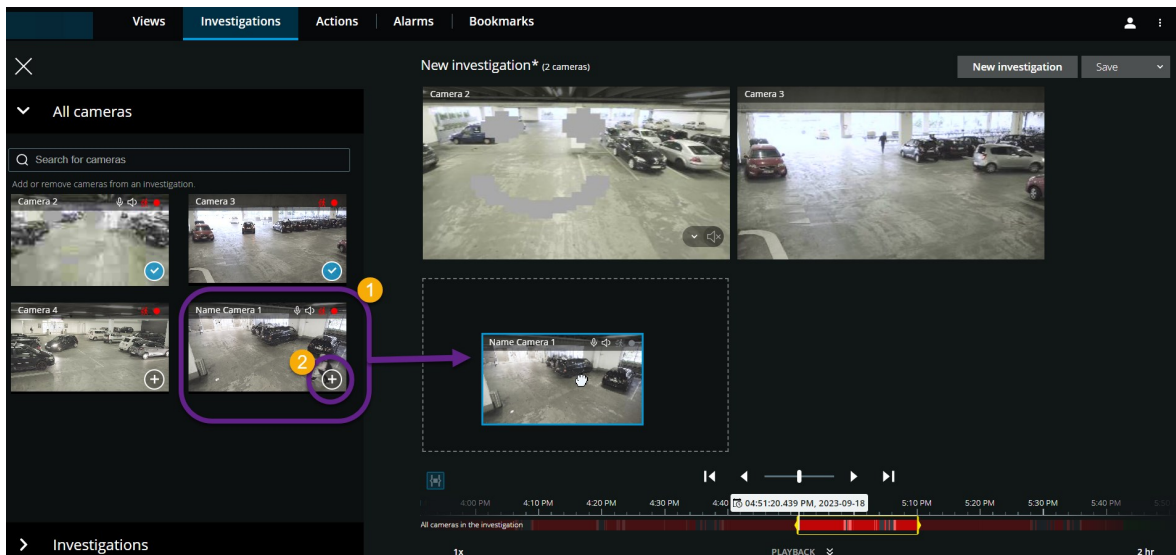
「既存の調査にカメラを追加したいです。どうすればよいですか。」

調査タブでをクリックしてサイドパネルを開きます。

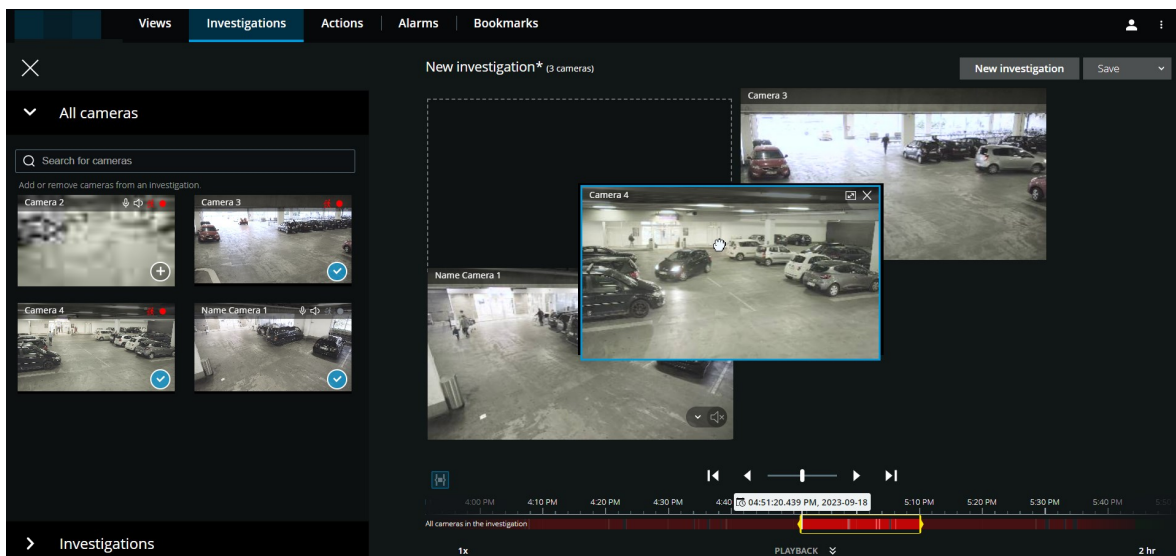
1. サイドパネルで**調査**をクリックします。
2. カメラを追加する調査に移動し、調査名をクリックします。
3. サイドパネルで**すべてのカメラ**をクリックします。**すべてのカメラ**エリアに、利用可能なすべてのカメラがサムネイルとして表示されます。

4. 追加するカメラに移動します。

- カメラ①をクリックして、調査エリアにドラッグ&ドロップします。
- 各カメラの右下のをクリックします②。
- 追加するカメラをダブルクリックします。



- オプション。調査でカメラの順番を変更するには、移動するカメラをクリックしてドラッグ&ドロップします。



カメラ検索フィールドで、カメラを名前で検索できます。



右下のチェックボックスが選択されていれば 、カメラはすでに追加されています。

5. [保存] をクリックします。
6. ドロップダウンリストから、**保存**を選択します。

既存の調査からカメラを削除する



「複数の映像をダウンロードしたいが、カメラ1には関連する映像が録画されていません。調査から削除するにはどうしたらよいですか。」

既存の調査の**調査**タブで、以下を実行します。

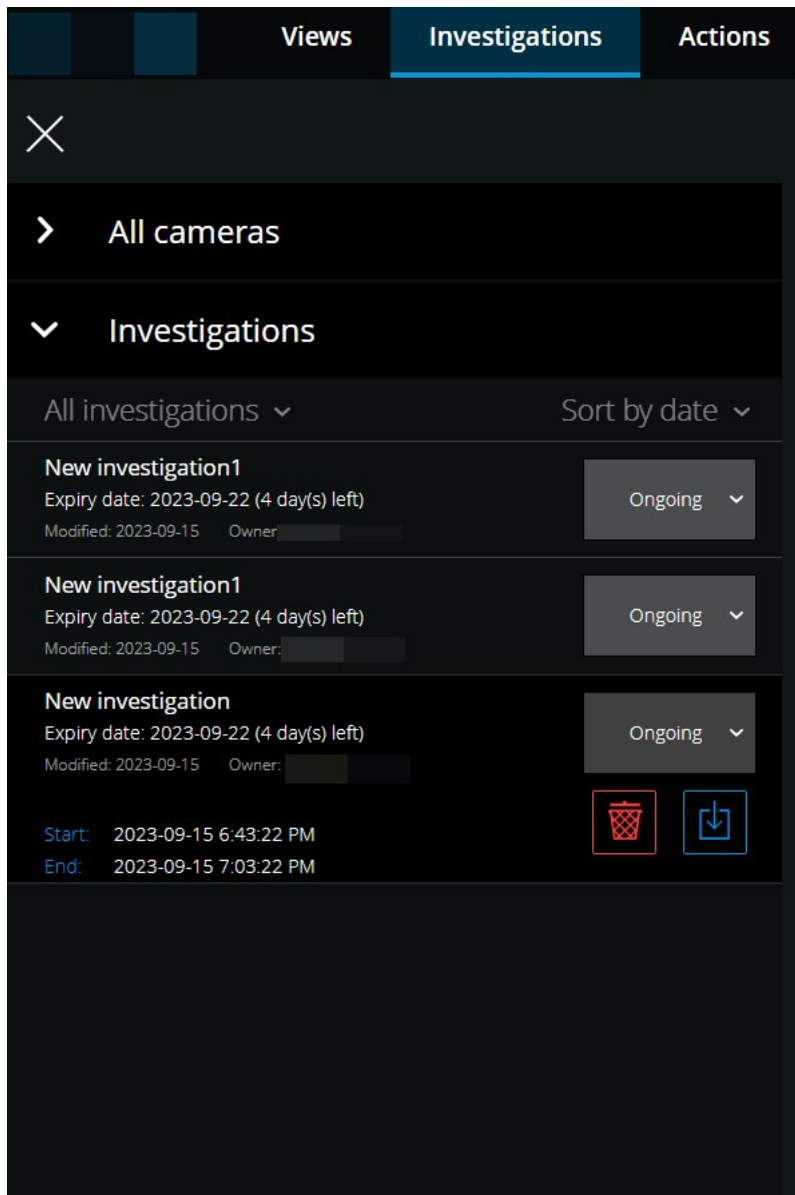
1. 調査から削除したいカメラにカーソルを当てます。
2. 右上の  をクリックして、調査からカメラを削除します。
3. [保存] をクリックします。
4. ドロップダウンリストから、**保存**を選択します。

すべてのカメラでカメラグループビューを開いて、カメラを調査から削除することもできます（[58 ページのビデオ再生](#)から、[必要のないカメラを削除](#)できます。を参照）。

調査を更新または削除する



「既存の1つの調査の名前とステータスを更新し、もう1つの調査を削除したいです。どうすればよいですか。」



調査タブで  をクリックしてサイドパネルを開きます。

サイドパネルで、以下を実行します。

1. **調査**をクリックし、すべての調査を表示します。
2. **マイ調査**リスト内で、更新または削除する調査をクリックします。

項目	可能なアクション
[調査名]	クリックして既存の調査の名前を変更します。
有効期限	調査の保存期間が有効になっている場合は、調査の有効期限を確認します。
	調査を削除します。
	選択したビデオフォーマットで、調査の作成とダウンロードをします（ 68 ページのビデオのエクスポートとダウンロードの準備 を参照）。
	調査のステータスを 進行中 または 完了 に手動で設定します。
	調査は、以下の基準で並べ替えができます。 ● 日付。最近の調査をリストの上の方に表示します。 ● ステータス。リスト内で、進行中の調査を上、完了した調査を下に表示します。



調査を開き、調査に追加済みのカメラに接続された音声デバイスを切り替えると、以前接続されていた音声デバイスの音声は再生されます。更新完了後に新しい音声デバイスの音声の再生を開始するには、最初にXProtect Web Clientを再起動し、**保存**をクリックしてこの調査を更新します（マイクまたはスピーカーが接続されているカメラのみ）。

ビデオのエクスポートとダウンロードの準備



「自分の調査をダウンロードして、後日警備員に見せたいです。どうしたらよいでしょう。」

XProtect Web Clientで利用可能なビデオフォーマットは以下の通りです。

フォーマット	説明
AVI パッケージ	大半のメディアプレイヤーで採用されている標準的ファイル形式です。迷っている場合は、こちらを選択してください。
XProtect パッケージ	XProtectフォーマットを表示できるのはXProtect Smart Client – Playerのみです。  XProtect Smart Client – Playerアプリケーションは、エクスポートされたデータに含まれません。アプリケーションは、XProtectからXProtect Smart Clientフォーマットをエクスポートする場合にのみ含めることができます。
MKV パッケージ	録画カメラが使用するコーデックを選択します。必要なコーデックがインストールされている場合のみ映像を再生できます。



利用可能なフォーマットはシステム管理者が指定します。セキュリティ上の理由により、モバイルサーバーでは、デフォルトですべてのフォーマットが無効になっています。

XProtect Web Clientでは、エクスポートの設定は以下の通りです。

- 再エクスポートは、すべてのビデオフォーマットで禁止されています。
- オプション。エクスポートはパスワードで保護できます。
- 256ビットAES暗号化
- デジタル署名が追加されます。

クライアントでサポートされているセキュリティ関連の機能の詳細については、Milestoneウェブサイトの製品概要ページにある完全な機能リストをご覧ください (<https://www.milestonesys.com/products/software/xprotect-comparison/>を参照)。

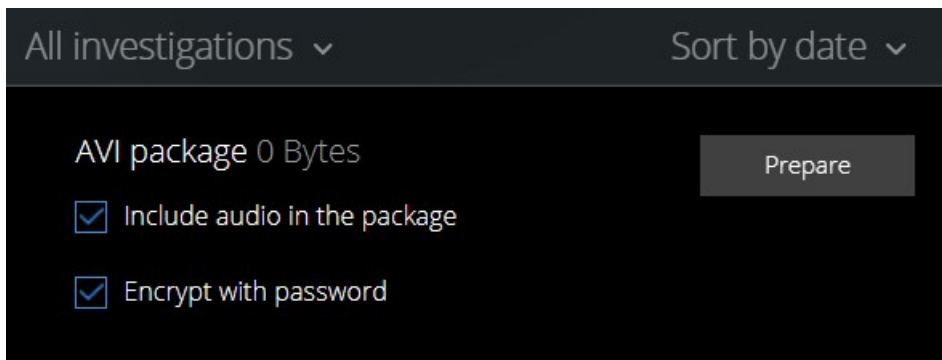
ビデオのエクスポートとダウンロードの準備の手順



ビデオのエクスポートを準備し、ビデオエクスポートパッケージをダウンロードするには、特定のユーザー権限が必要です。エビデンスビデオを共有する際は、所属企業の規約に従ってください。

[調査] タブで、以下を実行します。

1.  を選択します。
2. 該当する**調査**を開きます。
3. ダウンロードしたい調査を選択します。
4.  を選択します。
5. オプション。音声をビデオエクスポートパッケージに含めるには、[**パッケージに音声を含める**] チェックボックスを選択します。
6. オプション。ビデオエクスポートパッケージを AES で暗号化するには、[**パスワードで暗号化**] チェックボックスを選択します。



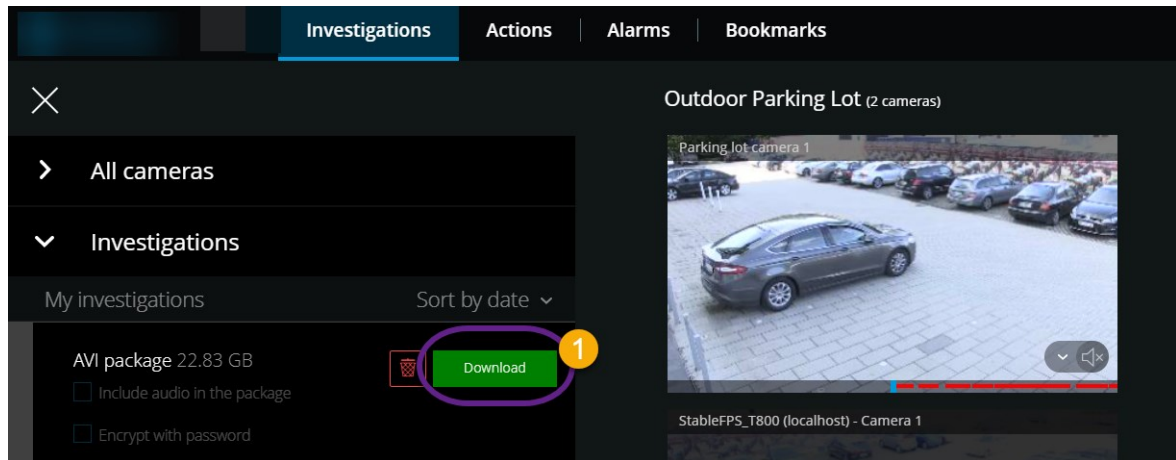
7. 希望する形式でビデオをダウンロードするには、[**準備**] をクリックします。



後で映像をエクスポートする準備をし、ダウンロードできます。準備されたエクスポートでは、ビデオ録画件数が調査に追加したカメラ台数と異なる場合があります。その理由は、一部のカメラでは、指定した時間帯に録画が存在しない場合があるからです。

8. ビデオエクスポートパッケージをパスワードで暗号化することを選択した場合、パスワードを入力し、[**設定**] を選択します。

9. 準備されたビデオエクスポートをダウンロードするには、[ダウンロード¹]を選択します。ダウンロードされたファイルは、ブラウザのダウンロードフォルダー内に入ります。



ビデオエクスポートパッケージをパスワードで暗号化した場合、7-Zip、BitLocker、AxCryptなどのAES暗号化をサポートしている圧縮ツールを使用してZipファイルを解凍します。AES暗号化をサポートしていないツールでZipファイルを解凍すると、問題が生じることがあります。

XProtect Web Clientページの共有（説明付き）



「私の同僚は他のオフィスで働いています。私がXProtect Web Clientで見ているものと同じものを別のの人に見せるには、どうすれば一番早くできますか」

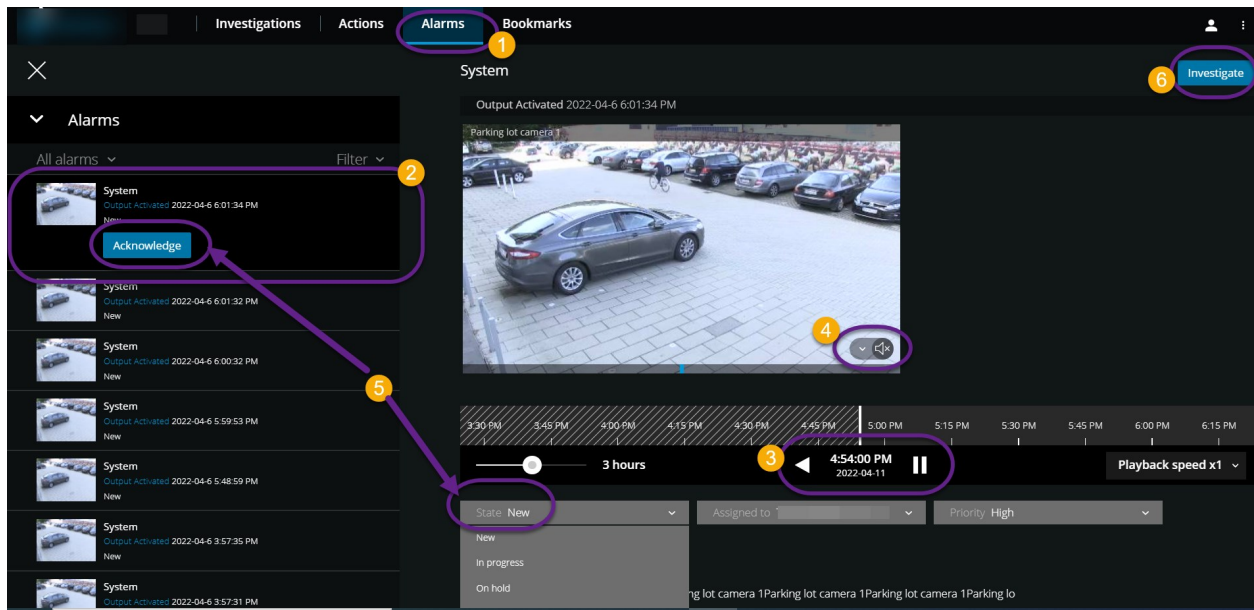


XProtect Web Clientのすべてのページに、固有のインターネットアドレスがあります。そのアドレスは、他のユーザーとの共有が可能です。ユーザーがWebブラウザ上でそのアドレスに進み、ログインすると、ユーザーは、あなたが共有したページを見ることができます。

アラームを表示



「カメラ3が午後4時前後にモーションを検知し、アラームが送られてました。強盗のようです。実際に何が起きたのかを見て、ビデオを警備員に見せたいと思います。」



アラームタブ^①で、以下を実行します。

1. 対象のビデオのアラーム^②を探し、クリックします。**フィルター**リストでは、アラームをステータス別または優先度別にフィルタリングできます。
2. ビデオを巻き戻しまたは再生し、閲覧している画像が撮影された時間を確認します^③。
3. 通常スピードでビデオ再生をしている場合、ビデオの音声再生を開始または停止します^④（[51 ページのビデオ録画における音声の再生（説明付き）](#)を参照）。
4. **確認**ボタンをクリックするか、別のアラームのステータスオプションをリストから選択して、アラームのステータスを変更します^⑤。
5. ビデオを後で見るため、または他者と共有するために保存するには、**調査**をクリックします^⑥。
6. 「[68 ページのビデオのエクスポートとダウンロードの準備](#)」の手順を実行します。

アラームの他のトリガー

- カメラが停止した。
- 窓ガラスが砕けた、または壊れた。
- ロッカーがこじ開けられた。
- カメラでブラックリストに載っているナンバープレートが確認された。



アプリでどの画面を見ているかに関係なく、アラームに関する通知を受け取ることができます。通知をクリックすると、アラームの詳細に移動します。この機能には、Milestone Care Plusサブスクリプションパッケージが必要です。

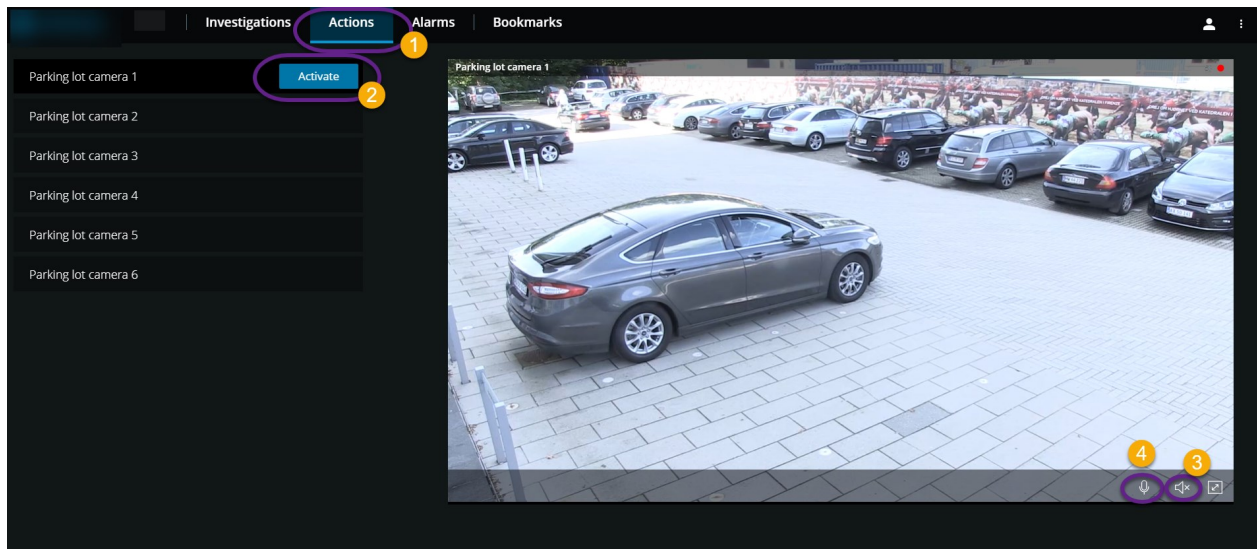


アラームを表示するには、アラームを設定し、必要なユーザー権限を付与することをシステム管理者に依頼します。

アクションの有効化



「来客のために、フロントドアがボタンを押すと開くようにしたい。」



アクションを有効化することで、ビデオ監視システムのイベントがトリガーされます。たとえば、フロントドアを開いた（アクション）とき、カメラ3がビデオの録画を開始（イベント）します。

アクション ^① タブで、以下を実行します。

1. 有効化したいアクションを見つけます。
2. **有効化**  をクリックすると、例えば、フロントドアが開きます。
3. オプション。ライブ受信音声  を開始または停止します（マイクが接続されたカメラのみ）。
4. オプション。  プッシュ・トゥ・トークを開始するには、クリックして長押しします。音声の送信を終了するには、  アイコンから手を放します  （スピーカーが接続されたカメラのみ）。

ライブビデオを表示する際は、ライブモードのアクションも有効にできます（[27 ページのライブビデオを見る（説明付き）](#)を参照）。

アクションの例にはどのようなものがありますか？

- ドアの開閉。
- 電灯のオン／オフ。
- サイレンの有効化／無効化。



アクションを表示し、有効化するには、アクションを設定し必要なユーザー権限を付与するようシステム管理者に依頼してください。

PTZコントロール

マウスを使用して、PTZ（パン/チルト/ズーム）カメラを動かす方法を選択します。

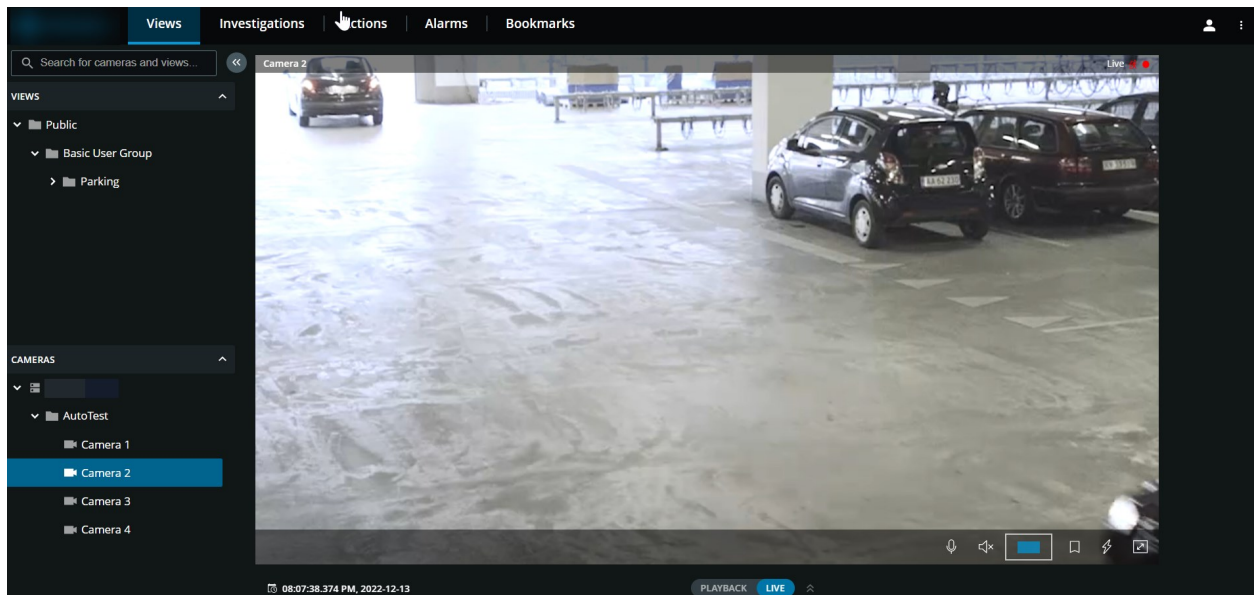
スワイプ

1. ビデオの上にカーソルを置きます。
2. マウスの左ボタンを長押しします。
3. マウスをドラッグし、左ボタンから指を離します。

タップしてホールド

1. ビデオの上にカーソルを置きます。
2. マウスの左ボタンを長押しします。
またはマウスをクリックしてドラッグします。

デジタルズームの使用



1. **ライブ**タブでカメラを検索して、クリックします。
2. ビデオの上にカーソルを置きます。
3. ズームイン/アウトするには、マウスでダブルクリックしてスクロールします。
4. ズームインしたら、カーソルをクリックして、対象の領域までドラッグします。ズームエリアインジケータは方向のナビゲーションに役立ちます。

光学ズームの使用（カメラが光学ズームをサポートしている場合）

1. **ライブ**タブで、PTZカメラを検索して、クリックします。
2. ビデオの上にカーソルを置きます。
3. ズームイン/アウトするには、マウスでスクロールします。

または  をクリックし、それから  をクリックしてズームします。



録画中にカメラの光学ズームを使用する場合は、ズームレベルが録画にも適用されます。

PTZコントロールセクションで、マウスを使用したPTZ（パン/チルト/ズーム）カメラの動かし方をご覧ください（[74 ページのPTZコントロール](#)を参照）。

アップグレード

XProtect Web Clientの更新

最新バージョンのXProtect Web Clientで作業するには、システム管理者にXProtect Mobile Serverサービスを更新するように依頼してください。



helpfeedback@milestone.dk

Milestone について

Milestone Systems はオープンプラットフォームのビデオ管理ソフトウェア（VMS）の世界有数のプロバイダーです。お客様の安全の確保、資産の保護を通してビジネス効率の向上に役立つテクノロジーを提供しています。Milestone Systems は、世界の 15 万以上のサイトで実証された高い信頼性と拡張性を持つソリューションにより、ネットワークビデオ技術の開発と利用におけるコラボレーションとイノベーションを促進するオープンプラットフォームコミュニティを形成しています。Milestone Systems は、1998 年創業、Canon Group 傘下の独立企業です。詳しくは、<https://www.milestonesys.com/>をご覧ください。

